

木場潟公園東園地農業体験ハウス（仮称）建設工事（建築）

番号	図面名	番号	図面名
A-00	表紙・図面リスト	S-01	構造特記仕様書
A-01	建築工事仕様書 その1	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [1]
A-02	建築工事仕様書 その2	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [2]
A-03	建築工事仕様書 その3	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [3]
A-04	建築工事仕様書 その4	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [4]
A-05	建築工事仕様書 その5	S-06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [5]
A-06	建築工事仕様書 その6	S-07	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [6]
A-07	建築工事仕様書 その7	S-08	鉄骨構造標準図 [1]
A-08	全体 配置図	S-09	鉄骨構造標準図 [2]
A-09	配置図・指定仮設図	S-10	鉄骨構造標準図 [3]
A-10	仕上表、面積求積図	S-11	基礎伏図
A-11	平面図	S-12	基礎・地中梁リスト
A-12	立面図	S-13	ブロック状地盤改良工法特記仕様書
A-13	矩計図	S-14	梁伏図
A-14	平面詳細図	S-15	軸組図 1
A-15	展開図 1	S-16	軸組図 2・部材リスト
A-16	展開図 2	S-17	鉄骨架構図 1
A-17	天井伏図	S-18	鉄骨架構図 2
A-18	建具図		
A-19	家具・サイン図		
A-20	各部詳細図		
A-21	温室部 仕上表		
A-22	温室部 建具図		
A-23	温室部 展開図(カーテ)概要図)		
A-24	温室部 各部詳細図		
A-25	温室部 制御配線系統図		
A-26	法規チェック図		

質疑のある者は、
指定日時までに営繕課へ提出する事。
現場説明 ナシ

監 修					
石川県土木部営繕課					
課 長	担当課長	課参事	課長補佐	G	L 担 当

建築工事仕様書

I 工事概要

1 工事場所 小松市 三谷町 地内

2 工事内容 (1) 本體工事 (種別 棟別 構造 階 面積)
新築工事 鉄骨造 平屋建て 延床面積 580.56㎡

(2) 屋外付帯工事
建物周囲犬走り範囲内本工事

(3) 電気設備工事
別途工事

(4) 給排水衛生設備工事
別途工事

(5) 解体工事

3 完成期日 令和4年11月30日 (概成工期 令和4年11月10日)
(余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。)

4 別契約関連工事
 ・屋外付帯工事
 ○電気設備工事 ○給排水衛生設備工事
 ○暖房設備工事 ○冷房設備工事
 ○換気設備工事 ○空調設備工事
 ・昇降機設備工事 ・電話設備工事
 ・浄化槽設備工事

II 建築工事仕様

1 共通仕様
 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「標仕」という。)による。
 2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は(/)図、機械設備工事は(/)図による。

2 特記仕様
 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 2) **特記事項は、○印の付いたものを適用する。**
 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。
 4) 特記事項に記載の(別図 . . .)は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。
 5) 特記事項に記載の[. . .]内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標仕」という。)の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 6) ☐印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
 7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。
 8) 斜線で消去した章は適用しない。

1章 一般共通事項

項目	特記事項
① 適用基準等	設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。 ○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版) ○建築構造設計基準の資料(国土交通省大臣官房官庁営繕部 平成30年通知)のうち第3章 ○営繕工事写真撮影要領(平成31年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部) ○営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和元年度版) ・建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・公共建築木造工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版) ・屋根瓦工事共通仕様書(石川県土木部営繕課監修 平成29年版) ・鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修) ・壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修) ○鉄骨構造標準図(石川県土木部営繕課監修) ○石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準(施設整備の手引き) ○石川県公共事業景観形成ガイドライン
② 工事実績情報の登録	※登録する(但し工事費負担額500万円以上の工事。)(1. 1. 4)
③ 発生材の処理	1) 産業廃棄物は「産業物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場へ処分する。 また、処分の際には産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覽表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。 2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す(1. 3. 11) イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所・引渡を要するもの・引渡し場所 ロ) 特別管理産業廃棄物の有無・有・無 ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照
④ 電気保安技術者	※適用する(1. 3. 3)
⑤ 施工条件	・別途工事および隣接工事と協力しながら工事を行うこと。(1. 4. 1)(1. 4. 2)(1. 4. 4)
⑥ 建築材料等	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。 ①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿(最新版)」(「社」公共建築協会)によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承認を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。 ②J I S又はJ A Sマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ)からへ)の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承認を受けるものとする。 イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

ハ) 安定的な供給が可能であること。
 ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。
 ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
 ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。
 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

2) 請負契約約款第6条の2第7項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の承認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出する。

3) 請負契約約款第13条第2項に定める監督員等の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。
 ※杭 ・型枠類 ・防水材料 ・石材 ○木材

4) 請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調書等を使用すべき工事材料は次のものとする。
 ※高強度コンクリート 試し練り ○地盤改良材の調査 ・土壁仕上げ材調査
 ○金属製品 ・合成樹脂製品 ・木製建具 ○塗料
 ・家具及び家具の金物 ・畳 ○内外装材料 ○屋根材料
 なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。

6) 本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないものとする。(「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」(厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月)参照)。安全データシート(SDS)等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。

「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

適用する技能士等及び技能士の適用工事種別及び作業の種別は次の通りとする。
 ※ 技能士 (1. 5. 2)

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	○とび作業
鉄筋工事	○鉄筋組立て作業
コンクリート工事	○型枠作業 ○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○構造鉄工作業 ○とび作業
ブロック・ALCパネル工事 押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業
石工事	・石材加工作業 ・石張り作業 ・石積み作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工工事	・大工工事作業
屋根及びといた工事	○内外装板金作業 ・かわらぶき作業
金属工事	○鋼製下地工事作業 ○内外装板金作業
左官工事	○左官作業
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ○自動ドア施工作業 ○ガラス工事作業 ・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業
カーテンウォール工事	・ガラス工事作業
塗装工事	○建築塗装作業
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁紙作業
排水工事	・建築配管作業
植栽工事	・造園工事作業

⑨ 完成図等

1) 完成図 ※作成する (1. 7. 1~1. 7. 3)(表1. 7. 1)
 イ) 工事完成図は、製本1部、A3版製本2部提出する。
 ロ) C D-R 又はD V D-Rに、CADで設計したものはCADデータ、手描きの場合はラスタデータとして記録し1部提出する。
 また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
 ※ラスタデータ: 画像データでT I F F形式、原因大で300dpi密度以上とする。
 ・作成しない

2) 屋外付帯工事実測図 ※提出する(1部) ・提出しない
 3) 保全に関する資料 ※提出する(1部) ・提出しない

保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」「(-財)建築保全センター」に建物の構造、機器、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
 別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携のうえ作成する。

1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(平成31年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記より提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
 各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。

⑩ 工事写真等の記録

区分	分類	規格	撮影枚数	部数
着工前	※カラー	※サービス版	※4景以上	※1部
工事中	※カラー	※サービス版	※「営繕工事写真撮影要領」による	※1部
完成時	※カラー	※キャビネ版・サービス版	※14景以上	※1部

○アルバム

区分	分類	規格	撮影枚数	部数
完成時	※カラー	※キャビネ版	※20景以上	※2部

・写真パネル

区分	分類	規格	仕様	部数
完成時	※カラー	※全紙サイズ	※木製装枠付き	※2部

2) 完成写真の撮影 ・専門業者の撮影(撮影者を明記) ○専門業者以外の撮影
 3) 原版の使用権を次の者に移譲する。 ※発注者 ・設計者
 移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。
 撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。
 4) 中間検査または、監督員の指示により手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

⑪ 責任施工
 ⑫ 工事報告書

⑬ 設備工事との取合い

1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
 2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数等は下記による。

位置/大きさ	100mm	125mm	150mm	175mm	200mm			
	梁					3		
補強筋箇所数	壁							
	床							

3) 鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。

4) 軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
 イ) 天井部分 3箇所 ロ) 壁部分 10箇所

設備関連工事との取合いは下記による。

他工事との取合い	建築工事	電気工事	機械工事	備考
機器の基礎、防油堤、換気扇取付用枠	○		○	
梁、床、壁貫通部の補強	○			
梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠	○	○	○	
外気取付ガラリ、床下水槽マンホール蓋	○			ガラリは立面図に図示
ステンレス流し台等	○			排水トラップ共
排気フード、レンジフードファン			○	
天井付付け(鋼製)とも				
天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫	○			
下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水			○	
小便器仕切板(陶器製)、タオル掛(下地共)				
洗面所、手洗所等の鏡	○			
ボイラー等の煙突			○	
実験台に付属する設備機器				
実験台の配管等の接続				
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強	○			
埋込み分電盤、端子盤等の型枠		○		
天井、壁ボード類の下地補強	○			壁出し、ボード留切り込みは設備工事
簡易開切切り(内装パネル)内の位置ボックス及び配管の取付	○			
屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎	○	○		
屋上に設置するテレビアンテナ、避雷針等の設備基礎				
配線ビッド及び蓋		○		
照明器具幹線等の吊りポルト用インサート			○	
身体障害者用の手すり				
洗濯機用防水パン及びトラップ				
フローリング・クローラー等の配管用スリーブ				
電話・テレビ等の配線用スリーブ			○	
クローラー取付ポルト用インサート			○	
ユニットバス本体・付属品(シャワー・金具・手すり・鏡・照明)				
ユニットバス用換気扇			○	
消火器				
自警、電動S、電動ローバ、防火	1次側配管配線	○		
設備の階間制御器、感知器	2次側配管配線	○		機器は建築工事
地下タンク室				

⑭ 設計G L

⑮ 建築基準法に基づき指定する条件

※図示 ・設計G L=現状G L
 ・地区の区分に応じた風速(V (m/sec)) 30(県内全域)
 ・地表面粗度区分 ・I ○II ○III ・IV
 ・多雪地域の指定 垂直積雪量 1.5m

⑯ 工事現場の掲示板

工事現場には、下記掲示板を設置する。(記入例) (2. 3. 1)

上段の地色は、白色 文字は、青色 下段の地色は、青色 文字は、白色	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">工 事 日 誌</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工 期 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">発注者 石川県土木部 営繕課</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">監 修</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">監 理</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施 工</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">建 築 (業者名を記入する)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電 気 (業者名を記入する)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">給排水 (業者名を記入する)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">暖 房 (業者名を記入する)</td> </tr> </table>	工 事 日 誌	工 期 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日	発注者 石川県土木部 営繕課	監 修	設 計	監 理	施 工	建 築 (業者名を記入する)	電 気 (業者名を記入する)	給排水 (業者名を記入する)	暖 房 (業者名を記入する)
工 事 日 誌												
工 期 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日												
発注者 石川県土木部 営繕課												
監 修												
設 計												
監 理												
施 工												
建 築 (業者名を記入する)												
電 気 (業者名を記入する)												
給排水 (業者名を記入する)												
暖 房 (業者名を記入する)												

(注意事項)
 ①(監修)内は、監修を委託した場合。
 ②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。
 ③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑰ 総合評価時における技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、発注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。

⑱ 施工の検査等

監督員等の検査を受ける工程は次のものとする。(1. 5. 5)
 ※敷地状況確認及び縄張り ※ベンチマーク ※違方 ※根切り掘削完了時
 ※主要構造部の配筋・型枠の組立て ・鉄骨原寸図 ※鉄骨ポルト締付け ※鉄骨建方
 その他監督員等の指示するもの

⑲ 施工の立会い等

請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。(1. 5. 7)
 ※杭打ち ○コンクリートのスラブ確認及び打込み ・屋外タイル接着力試験
 ・地盤改良部試験体採取 その他監督員等の指示するもの

20 中間検査

中間検査の実施 ※有 ・無 (1. 6. 2)
 実施時期 ※躯体工事完了時 ・

⑳ 公共事業労務費調査等に対する協力

・発注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。
 1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
 2) 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
 3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
 4) 対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者(当該下請け工事の一部に係る二次以下請け人を含む。)が前各号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
 5) 本工事が「建設副産物実態調査」の対象となった場合、県の求めに対して速やかに調査票を作成し、県に提出しなければならない。

⑳ 保 険

工事的目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。
 ※建設工事保険または組立保険(工事対象物を全て解体する工事を除く)
 加入期間 引渡しまで(引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで)

㉓ 室内空気汚染対策

※実施する ・実施しない (1. 5. 9)

1) 測定の有無 ※有 ・無
 イ) 測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
 ロ) 測定対象室
 測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。
 内装工事を行った居室について測定を行う。
 ハ) 1室当たりの測定箇所数

室の床面積 A (㎡)	A ≤50	50<A ≤200	200<A ≤500	500<A
測定箇所数	1	2	3	4

全ての測定箇所において、二)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。

二) 測定対象化学物質及び測定方法
 測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びブチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知(平成24年4月5日 国営整第4号)「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。

ホ) 測定時期
 測定は下記の時期に行うものとする。
 ① 測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
 ② 別途工事又は家具の設置等が行われる前。
 ③ 内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。
 ④ 中央式空調設備のように換気を行いつつ空調を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること

ハ) 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
 測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。

ト) その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二)の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。

2) 施工中・施工後の通風、換気
 接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。

3) 引き渡し時
 室内空気中に化学物質を放散するおそれのある建築材料等を使用している場合は、監督員の指示により、その使用状況の一覧表を提出する。

4) 揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ)からホ)の事項を満たすものとする。
 イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
 ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びブチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
 ハ) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
 ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
 ホ) 上記のイ)、ハ)、ニ)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
 ※「規制対象外」のもの
 ①J I S又はJ A SのF☆☆☆☆規格品
 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
 ③下記表示のあるJ A S規格品
 7)非ホルムアルデヒド系接着剤使用
 4)接着剤等不使用
 4)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
 2)ホルムアルデヒドを放散させない塗料を使用
 4)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
 4)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

・「第三種」のもの
 ①J I S又はJ A SのF☆☆☆☆規格品
 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
 ③旧J I SのE O規格品
 ④旧J A SのF O規格品

現場代理人及び主任(監理)技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。(ただし、顔写真1.000万円以内とする。)

氏名 △△太郎 発行日 令和○年○月○日 代表者 □□建一(代表印)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(顔写真) カラー写真貼付</td> </tr> </table>	(顔写真) カラー写真貼付
(顔写真) カラー写真貼付		

(注意事項)
 ①名札として使用する用紙(台紙)は白色、寸法は上図(名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm)のとおりとする。
 ②顔写真(カラー写真)の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
 ③ケースの寸法は上記①の用紙(台紙)が入る大きさとする。

㉓ 施工体制台帳の作成等

工事名	発注者	発注日	発注場所	発注者代表者	監督員	監督員代表者
1. 平成10年4月1日 改訂	19. 平成24年4月1日 改訂	24. 平成29年4月1日 改訂				
2. 平成10年11月1日一部改訂	20. 平成25年4月1日 改訂	25. 平成29年7月1日一部改訂				
3. 平成12年4月1日 改訂	21. 平成26年4月1日 改訂	26. 平成30年4月1日一部改訂				
4. 平成13年4月1日 改訂	22. 平成27年4月1日 改訂	27. 令和2年4月1日 改訂				
5. 平成14年4月1日 改訂	23. 平成28年4月1日 改訂	28. 令和3年4月1日一部改訂				
6. 平成15年4月1日 改訂	24. 平成28年4月1日 改訂	29. 令和3年5月1日一部改訂				
7. 平成15年7月1日一部改訂						
8. 平成15年10月1日一部改訂						
9. 平成16年4月1日 改訂						
10. 平成16年8月20日 改訂						
11. 平成17年4月1日 改訂						
12. 平成17年6月1日一部改訂						
13. 平成19年10月1日一部改訂						
14. 平成20年4月1日 改訂						
15. 平成21年4月1日 改訂						
16. 平成21年8月1日 改訂						
17. 平成22年4月6日 改訂						
18. 平成23年4月1日 改訂						

工事名 木場湯公園東園地農業体験の(仮称)建設工事(建築)

図面名 A-01

設計 石川県土木部営繕課

3	粘土瓦	(13. 4. 2)			
		形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備考
		※J形	※53A	・ゆう葉がわら	色調()
		・S形	・49A ・49B	・いぶしがわら	役物瓦(図示)
4	とい	・建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法(建設省告示第109号による)を、1. 2. 2(施工計画書)による品質管理で定める。 (イ)産地 ※県内産 ※県外産 (ロ)下地コンクリートの場合の特殊モルタル ①材料の使用量(1㎡当たり)セメント480kg、川砂0.45㎡、水280kg 特殊バーライト560㎡(メーカ仕様による) ②水セメント比60%、スラブ15cm ③4週保釘力40kg/㎡以上			
		1) 材種 (13. 5. 2)(表13. 5. 1) ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○7&Mニウム製既製種 □			
		2) 鋼管製といの防露 ※「標仕」表13. 5. 4による(13. 5. 2)(表13. 5. 3)(表13. 5. 4) 3) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種			
		4) 掃除口 ※有り ○無し			

15章 左官工事	
1	モルタル塗り材料
2	床コンクリートの直均し仕上げ
3	セルフレベリング材塗り
4	仕上塗材仕上げ

14章 金属工事	
1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験
2	ステンレスの表面仕上げ
3	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
4	鉄鋼の亜鉛めっき
5	軽量鉄骨天井下地
6	金属成形板張り
7	アルミニウム製笠木
8	手すり及びタラップ
9	フッ素樹脂焼付塗装鋼板
10	体育館の鋼製床下地

1	防水剤(モルタルに混入する防水剤)の品質
2	既製目地材 ※適用しない ・適用する(形状)
3	①せつこう系 施工箇所及び厚さ ※図示 ②セメント系 施工箇所及び厚さ ※図示
4	1) 仕上塗材の種類等
5	ロックウール吹付け

1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験
2	ステンレスの表面仕上げ
3	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
4	鉄鋼の亜鉛めっき
5	軽量鉄骨天井下地
6	金属成形板張り
7	アルミニウム製笠木
8	手すり及びタラップ
9	フッ素樹脂焼付塗装鋼板
10	体育館の鋼製床下地

16章 建具工事	
1	見本の製作等
2	防犯建物部品
3	天井下地材における耐震性を考慮した補強
4	樹脂製建具
5	網戸

17章 カーテンウォール工事	
1	メタルカーテンウォール

1	見本の製作等
2	防犯建物部品
3	天井下地材における耐震性を考慮した補強
4	樹脂製建具
5	網戸

6	鋼製建具
7	標準型鋼製建具
8	鋼製軽量建具
9	標準型鋼製軽量建具
10	ステンレス製建具
11	木製建具
12	建具用金物
13	自動ドア開閉装置
14	自閉式上吊り引戸装置
15	重量シャッター
16	軽量シャッター
17	オーバーヘッドドア
18	ガラス

1	簡易気密型ドアセット性能値
2	外部に面する建具の耐風圧性
3	鋼板の厚さ(1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合)
4	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による
5	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による
6	簡易気密型ドアセット性能値
7	外部に面する建具の耐風圧性
8	建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量
9	フラッシュ戸の表面材の種類
10	マスターキー
11	自動ドアの開閉機構
12	凍結防止措置
13	外部に面するシャッターの耐風圧強度
14	開閉機能
15	重量シャッター
16	軽量シャッター
17	オーバーヘッドドア
18	ガラス

1	簡易気密型ドアセット性能値
2	外部に面する建具の耐風圧性
3	鋼板の厚さ(1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合)
4	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による
5	簡易気密型ドアセット性能値
6	簡易気密型ドアセット性能値
7	外部に面する建具の耐風圧性
8	建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量
9	フラッシュ戸の表面材の種類
10	マスターキー
11	自動ドアの開閉機構
12	凍結防止措置
13	外部に面するシャッターの耐風圧強度
14	開閉機能
15	重量シャッター
16	軽量シャッター
17	オーバーヘッドドア
18	ガラス

1	メタルカーテンウォール
---	-------------

4	複層ガラス
5	熱線反射板ガラス
6	倍強度ガラス
7	ガラス留め材及び溝
8	ガラスブロック積み
9	ガラス用フィルム

1	メタルカーテンウォール
---	-------------

17章 カーテンウォール工事	
1	メタルカーテンウォール

17章 カーテンウォール工事	
1	メタルカーテンウォール

2	PCカーテンウォール	シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。(17.2.2)(9.7.2)(表9.7.1)			
		被着体の組合せ			
		シリング材の種類			
		記号	主成分による区分	耐久性による区分	
		金属	ガラス		
			石、タイル		
		ガラス	ガラス		
		構造ガasket	※適用しない ・適用する(施工箇所:) (17.2.2)		
		断熱材	※適用しない ・適用する(種類: 厚さ(mm): 施工箇所※図示) (17.2.2)		
		製品の寸法許容差	※下記以外は「標仕」表17.2.1による。(17.2.3)(表17.2.1) ・製造所標準製作規定寸法許容差による。		
アルミニウムの表面処理	(17.2.3)(表14.2.1)				
種別	色合い等				
・AB-1種	・BB-1種	無着色			
・AB-2種	・BB-2種	※ブラウン系・ブラック・ステンカラー			
・着色塗膜	塗装材料()	焼付け方法()	コート()	ベーク	
耐風圧性能	(17.1.3)				
性能値	※建築基準法施行令第7条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m ² 以上及び負圧 N/m ² 以上に対して安全であること。				
主要部材のたわみ					
支点間距離(h)	たわみ量	状態			
※4m以下	※±(1/150)×h	※各部の破損、残留変形			
・4mを超える	かつ絶対量20mm以下	有害な変形が起らないこと			
耐震性能	(17.1.3)				
設計用震度	水平方向(K _H)	※1.0	・		
	垂直方向(K _V)	※0.5	・		
構造種別	許容層間変位量(h=支点間距離)	変位後の状態			
鉄骨造	※±(1/100)×h以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと			
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	主要部材に有害な歪みが生じること			
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	シーリングの損傷は補修程度			
水密性	・W-4	・W-5	(17.1.3)(表16.2.1)		
気密性	・A-3	・A-4	(17.1.3)(表16.2.1)		
耐火性能	※適用しない・適用する(時間、施工箇所: 図示)				
映像調整	※行わない・行う(建具表による)				
設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。	(17.3.2)				
コンクリートの種類及び品質	※「標仕」17.3.2による。 ・下表による。ただし下表以外は17.3.2による。				
コンクリートの種類	設計基準強度(F _c)	所要スランプ(cm)			
鉄筋	※SD295A				
取付け用金物の表面処理(鉄の亜鉛めっき)及び材質	下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。(17.3.2)(14.2.3)(表14.2.2)				
金物種類及び部位	内部	外部			
PC版打込み金物	※E種	※A種			
PC版打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト			
2次ファスナー	※E種	※A種			
取付けボルト	※E種	※A種			
レベル調整ボルト	※E種	※A種			
シーリング材料	下記以外は「標仕」表9.7.1による。(17.2.2)(9.7.2)(表9.7.1)				
施工箇所	シリング材の種類				
記号	主成分による区分	耐久性による区分			
カーテンウォール板間目地					
断熱材	※適用しない ・適用する(種類: 厚さ(mm): 施工箇所※図示) (17.3.3)(表17.3.1)				
製品の寸法許容差	※下記以外は「標仕」表17.3.1による。(17.3.3)(表17.3.1) ・製造所標準製作規定寸法許容差による。				
表面仕上げ	()				
耐火材料					
施工部位	種別	規格等			
・ファスナー部					
・取付けブラケット					
・パネル目地部					
・層間ふさぎ					
耐風圧性能	(17.1.3)				
性能値	※建築基準法施行令第7条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m ² 以上及び負圧 N/m ² 以上に対して安全であること。				

6	カーペット敷き	耐震性能	(17.1.3)			
		設計用震度	水平方向(K _H)	※1.0	・	
			垂直方向(K _V)	※0.5	・	
		構造種別	許容層間変位量(h=支点間距離)	変位後の状態		
		鉄骨造	※±(1/100)×h以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと		
		鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	シーリングの損傷は破損程度		
		鉄骨鉄筋コンクリート造	・			
		18章 塗 装 工 事				
		①	材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量 (18.1.3) ※規制対象外・第三種 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。		
		②	素地ごしらえ	せつこうボード及びその他のボード面の目地工法が継目処理工法の場合 (18.2.7)(表18.2.7) 種別 ※A種・B種(せつこうボードの継目処理工法施工箇所) 種別 ・A種 ※B種(せつこうボードの継目処理工法以外施工箇所)		
3	アクリルシリコン樹脂クリア塗り	適用範囲 コンクリート及び押出成形セメント板素地面				
	工 程	塗料その他	塗付け量(kg/m ²)			
1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	—			
2	下塗り(1回目)	浸透性吸水防水材(シラン系)	0.08			
3	下塗り(2回目)	浸透性吸水防水材(シラン系)	0.08			
4	中塗り	アクリルシリコン樹脂ワニス	0.10			
5	上塗り	アクリルシリコン樹脂ワニス	0.10			
4	常温乾燥形ふっ素樹脂クリア塗り	適用範囲 コンクリート及び押出成形セメント板素地面				
	工 程	塗料その他	塗付け量(kg/m ²)			
1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	—			
2	下塗り(1回目)	浸透性吸水防水材(シラン系)	0.08			
3	下塗り(2回目)	浸透性吸水防水材(シラン系)	0.08			
4	中塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス	0.10			
5	上塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス	0.10			
19章 内 装 工 事						
①	材料	(19.2.2)(19.3.2)(19.4.2)(19.5.2)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2) 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。				
2	ビニル床シート張り	(19.2.2)				
	種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)		
	※発泡層のないもの	※FS	※無地・マール	※2.0・2.5		
	・発泡層のあるもの	・HS	※柄物・無地			
	・					
	・					
	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。(KSの場合を除く)					
	工法	※熱溶接工法・突付け(施工箇所:) (19.2.3)				
3	ビニル床タイル張り	(19.2.2)				
	種 類	JISの記号	厚さ(mm)	寸法(mm)	備 考	
	※コンポジションビニル床タイル [接着形]	KT	※2.0・2.5	・300×300 ・450×450		
	・複層ビニル床タイル [接着形]	FT	※2.0	・300×300 ・450×450		
	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。					
4	帯電防止床タイル張り	(19.2.2)				
	種 類	厚さ(mm)	性 能			
	・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K 6911による)			
	・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は5.0	1.0×10 ⁹ Ω以下、または、			
	・	・	漏洩抵抗値(JIS A 1454による)			
	・	・	1.0×10 ¹⁰ Ω未満			
⑤	ビニル床木	高さ(mm)	※60・75 (19.2.2)			

6	カーペット敷き	防火性能は、消防法で定める防火性能を有し、登録されているものとする。(19.3.1) ・織じゅうたん (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)				
		種 別	織り方	バイル形状	色柄等	帯電性
		・A種	・ウィルトンカーペット	・カットバイル	※単一色(無地)	人体帯電圧
		・B種	・ダブルフェースカーペット	・ループバイル	・柄物(標準色)	※3kv以下
		・C種	・アキスミンスターカーペット	・カット、ループ併用	・	・
		・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)				
		バイル形状	バイル長(mm)	工 法	帯電性	
		・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	人体帯電圧	
		・マルチレベルループ	※4~6	・グリッパー工法	※3kv以下	
		・レベルループバイル	※4	・	・	
・カット、ループ併用	・	・	・			
・ニードルパンチカーペット 厚さ(mm)	・帯電性 人体帯電圧 3kv以下		備考 (19.3.2)			
・タイルカーペット (19.3.2)						
種 別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	帯電性	備考	
※第一種	※ループバイル	※500×500	※6.5	人体		
※第二種	※カットバイル	・	・	耐電圧	3kv以下	
7	合成樹脂塗り床	(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~表19.4.8)				
	種 別	仕上げの種類				
厚膜型	・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ		・防滑仕上げ	・つや消し仕上げ	
	・エポキシ樹脂系塗床材	※薄膜流し展べ工法(※平滑・防滑)				
		・厚膜流し展べ工法(※平滑・防滑)				
		・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑)				
薄膜型	・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ				
8	床用塗料塗り	材質 ウレタン樹脂系塗料(※標準色・) 仕上種類 ※平滑仕上げ・防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗のうす主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m ² 以上とする。				
9	防塵用塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料(※標準色・) 仕上種類 コーティング(ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする。				
10	フローリング張り	(19.5.2~19.5.7)(表19.5.1~表19.5.6)				
	品 名	樹 種	工 法	種 別	仕上塗装等	
	※天然木化粧複合フローリング	・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法(根張工法) ・釘どめ工法(直張り工法) ・接着工法(直張用)	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート	
	・	・	・	・	・	
11	畳敷き	(19.6.2)(表19.6.1)				
	下地の種類	畳の種類				
	「標仕」表12.6.1による床組	・A種 ※B種・C種・D種(・)				
	ポリスチレンフォーム床下地	・C種 ※D種(・)				
12	ポリスチレンフォーム床下地	畳下地	厚さ(mm)	※40	・65	・80
13	特殊合板等の種類	フローリング類下地	厚さ(mm)	※80	・95	
	特殊合板の仕上げの種類などは、下記による。(19.7.2)					
	施工箇所					
	仕上げの種類	・天然木化粧合板(・) ・特殊加工化粧合板(・)				
	防火性能	・難燃 ・準不燃 ・不燃 ・難燃 ・準不燃 ・不燃				
	表面の品質	・1等 ・2等 ・3等 ・1等 ・2等 ・3等				
	接着剤の種類	・1種 ・2種 ・3種 ・1種 ・2種 ・3種				
	工 法	・A種・B種 ・釘打 ・タッピング ・A種・B種 ・釘打 ・タッピング				
	目地処理	・目透し・突付け・V目地・底目地 ・目透し・突付け・V目地・底目地				
14	壁紙張り	(19.8.2)				
	施工箇所	壁紙の種類			防火性能の級別	備 考
		紙製	繊維(織物)	グラスファイバー繊維質製	その他	
	ホール壁	・	・	○	・	※不燃・準不燃・難燃
		・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃
		・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃
		・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃
		・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃
	素地ごしらえ (19.8.3)(表18.2.4)(表18.2.5)(表18.2.7) モルタル、プラスター、コンクリート面 ※B種・A種(施工箇所:) せつこうボード面 ※B種・A種(施工箇所:)					
19	吸音材	(表19.7.1)				
	種 類	記 号	厚さ(mm)			
	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25			
	※グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25			
20	乾式耐火間仕切壁	耐火性能				
	60分耐火(非耐力壁)	下地材	構造方法	仕上げ材等		
		軽量鉄骨壁下地	両面	・強化せつこうボード(厚さ15mm)下張り +せつこうボード系(厚さ12.5mm) ・けい酸カルシウム板系(厚さ8mm)二重張り ・けい酸カルシウム板系(厚さ8mm) +せつこうボード系(厚さ12.5mm)		
			片面	・強化せつこうボード系(厚さ21mm二重張り)		
	品質・規格	建築基準法に基づく耐火構造の通則的指定及び個別的指定を受けたもの。				
設 計	石川県土木部営繕課		工事名 木場湯公園東園地農業体験ハウス(仮称)建設工事(建築)			
	図面名 建築工事仕様書 その5		図面番号 A-05			

15	断熱材	断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・第三種 (19.9.2)(19.9.3)				
		種 類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等	
		・押出法	※2種b	※一般部	※25	特定フロンを使用しないもの
		ポリスチレン	・	・	・	・
		フォーム	※3種b	・接合部分	※25	・
		保温板	(スキン層付)	・	・	・
		・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	—	—	特定フロンを使用しないもの
			・一般部	※15	・	難燃性 ※3級・2級
			・	・	・	・
			製造所 JIS A 9526又は「評価名簿」による			
	・断熱材兼用型枠	・壁(図示の範囲)	※40以下	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (m ² ・K/w)		
16	体育館のフローリング張り	体育館のフローリング張りは、下記による。 (イ)材種 下張り(組床式の場合)・1種ラワン合板(厚15)・構造用合板1類2級(厚15)上張り ・かば桜10mm (ロ)工法 下張りとは、鋼製下地にタッピングビス止め。上張りは、下張り材に接着剤と釘打ち併用とする。 上張り材と他の材料との取合いは、ネオプレンゴムとし、コートラインは、上張り前に、監督員の指示により施工する。				
17	浴室天井材	市販品				
	材 質	表面仕上げ	性 能	幅(mm)	備 考	
	※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は樋付き	
		・アルマイト処理品		・100	とし、製造所の	
	・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	標準品とする。	
		・木目調		・100		
18	せつこうボードその他のボード張り	(19.7.2)(表19.7.1)				
	種 類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等			
	・硬質木モセメント板	GW	・15・20・25 再生の木質材又は植物繊維の質量比割合が50%以上であること。			
	・普通木モセメント板	GW	・15・20・25 ただし、体積比20%以下の接着材、湿和剤等の質量は除くことができる。			
	・メディアムデンシティファイバーボード	MDF	・			
	・パーティクルボード	GW	・			
	けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2(無石綿)			
	・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9・12) ・凹凸タイプ(※12・15・19)			
	・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)		※フラットタイプ9(不燃) ・凹凸タイプ(※12・15)(不燃)			
	・せつこうボード	GB-R	・12.5(不燃) (テーパーエッジボード施工箇所は図示)			
	・不燃積層せつこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)			
	シージングせつこうボード	GB-S	12.5(不燃)			
	・強化せつこうボード	GB-F	※12.5(不燃) 15.0(不燃)			
	・せつこうラスボード	GB-L	9.5			
	・化粧せつこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(※柱目・板目)専用下地材付き			
	・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2			
	・難燃合板	GW				
	軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)(表9.7.1) ※適用する ○適用しない					
	種 類	記 号	厚さ(mm)			
	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25			
	※グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25			

21	誘導用及び注意喚起用床材	視覚障害者用タイル (19. 2. 2)				
		適用箇所	種類	寸法 (mm)	形状	
		屋内	・塩化ビニル系 ・磁器又はせり器タイル	※300×300	・ ・	ブロックパターンはJIS T 9251による
		屋外	・コンクリート系 ・レジンコンクリート系 ・磁器又はせり器タイル	※300×300×60 ※300×300	・ ・	

20章 ユニット及びその他工事

項目	特記事項				
1	耐震スリット	方向	タイプ	耐火性能	防水性能
		・垂直方向	※完全 (全貫通型) スリット	・耐火型	・有り
		・水平方向	・部分スリット	・非耐火型	・無し
		目地	内壁 (幅×深さ)	外壁 (幅×深さ)	
目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)			
目地寸法 (mm)	※20×10	※20×10			

2	鉄骨造 ジョイント金物	材質	クリアランス	防火性能	防水性能
		・アルミ ・ステンレス	・50 ・100 ・150	・あり ・なし	・あり ・なし
		形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		

3	止水板	形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		
		形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		

4	フリーアクセスフロア	形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		
		形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		

5	可動間仕切	構造形式	パネル部の 厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	仕上げ	遮音性 (透過損失)	不燃材料 の認定
		※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 (※0.5)	※メラミン樹脂 又はアクリル 樹脂焼付け	・15dB程度 ・30dB程度 ・36dB以上	・あり
		製造所等	JIS A 6512によるもの又は「評価名簿」によるもの				
		遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ (注2)	操作方法	施工箇所
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式			
・遮音タイプ (注1)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式			

注1 JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。
注2 表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事 14壁紙張りによる。

6	移動間仕切	構造形式	パネル部の 厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	仕上げ	遮音性 (透過損失)	不燃材料 の認定
		※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 (※0.5)	※メラミン樹脂 又はアクリル 樹脂焼付け	・15dB程度 ・30dB程度 ・36dB以上	・あり
		製造所等	JIS A 6512によるもの又は「評価名簿」によるもの				
		遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ (注2)	操作方法	施工箇所
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式			
・遮音タイプ (注1)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式			

注1 JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。
注2 表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事 14壁紙張りによる。

7	トイレブース	表面仕上げ材	脚部の形状・材質		ドアエッジの形状・材質	
		※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	・アルミニウム ・ステンレス	・フラット形 ・曲面形 ・ステンレス製	
		材質	ステンレスSUS304			
		形状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド	※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し		
幅 (mm)	約35					
取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法					

8	階段消止め	材質	ステンレスSUS304		
		形状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド	※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し	
		幅 (mm)	約35		
		取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法		

9	階段手すり	種別	仕上げ等	手すり径等 (mm)	施工箇所
		・集成材 (市販品)	※クリアラッカー	・45	
		・ビニル製ハンドレール ※アルミ製 塩ビ被覆	・耐候性タイプ ・	・50 (幅) ・34 ・40	
		・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ	・HL ・	・40 ・	

10	黒板及びホワイトボード	種類	寸法 (mm)	備考	
		・黒板	・焼付け	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	
		○ホワイトボード	○まろうろ	図示	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径 約30mm ・無し) (20. 2. 10)			
法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。製造所 監督職員の承諾する製造所					
適用安全使用温度 ※400℃ ・650℃ (20. 2. 11)					
製造所 「評価名簿」による。					

11	表示標識	衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径 約30mm ・無し) (20. 2. 10)			
		法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。製造所 監督職員の承諾する製造所			
		適用安全使用温度 ※400℃ ・650℃ (20. 2. 11)			
		製造所 「評価名簿」による。			

12	煙突用成形ライニング材	形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		
		形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式		
		施工箇所	※図示		

13	ブラインド	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
		※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100
		※市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)			
使用区分		溝幅×深さ (mm)			
・横型ブラインド		※90×150 ・120×150			
・縦型ブラインド		※120×80 ・150×80			
・カーテン (又はレース共)		※150×80 ・180×80			
・カーテン+横型ブラインド		※180×150			

14	ブラインドボックス及びカーテンボックス	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
		※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100
		※市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)			
使用区分		溝幅×深さ (mm)			
・横型ブラインド		※90×150 ・120×150			
・縦型ブラインド		※120×80 ・150×80			
・カーテン (又はレース共)		※150×80 ・180×80			
・カーテン+横型ブラインド		※180×150			

15	ロールスクリーン	色彩	※B-1 ・B-2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)	・図示	
		操作方法		スクリーンの種類	品質等
		・ブルコード式 (ストッパー付)		・無地	
		・ワンタッチチェーン式		・柄物	
・チェーン式		・遮光タイプ			
・電動式					

16	カーテン及びカーテンレール	形式	装置	名称・品質	ひだの種類	備考	
		施工箇所	片引 引分	電動 ひも引 手引	名称・品質	ひだの種類	備考
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・

17	ビクチャーレール	材質	アルミニウム製 (シルバー)		
		形式	先付け天井埋込型 (見切縁兼用)		
		材質	本体: 真鍮性 フック: ステンレス製 (可動式)		
		耐荷重	2.5kg程度/個		
個数	2個/レール1m				

18	天井点検口	目地形状	適用箇所	寸法 (mm)
		額縁タイプ	下記以外全て	※450×450
		目地タイプ	※図示	・600×600
			・天井仕上げ材がDRの範囲	・

19	床点検口	品質及び性能等	(表14. 2. 1)		
		項目	材料の品質・規格及び性能		
		内外枠の材質	アルミニウム合金押出型材 (表面処理: C-1種又はC-2種による) (JIS H 4100 A6063S-T5による)		
		内外の仕上げ材	アルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板類及び同等の性能を有するもの		
留付け金具	鋼材に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの				
コーナース及び取付け金物等	鋼材に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの				
寸法許容差	枠の許容差	±0.5mm以内			
	外枠と内枠のクリアランス	2.0mm以内			

20	収納家具・書架・物品棚	品質	主要構造部材の材料	形状	寸法 (mm)	備考
		・収納家具	JIS S1033 (ワイフ用収納家具) による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	
		・書架	JIS S1039 (書架物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・1種 ・2種 ・3種
		・物品棚	JIS S1039 (書架物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・5種 ・6種 ・7種
・移動式書架・物品棚		・図示 ・木製	・図示 ・			

21	かざ箱	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種			
		市販品			
		形式			
		・30組用 ・60組用 ・120組用			

22	くつふきマット	材質	塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)			
		種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	
		○疏し台	※1200 ・1500	○1800	トラップ付き	※優良住宅部品
		・コンロ台	※600 ・700	・	バックガード ※有り	(タコヤマトリI型)
・つり戸棚	※1200 ・900	・800		○図示		
・水切り棚	※1200 ・900		ステンレス製 ※1段式	※市販品		

23	流し台ユニット	種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	
		○疏し台	※1200 ・1500	○1800	トラップ付き	※優良住宅部品
		・コンロ台	※600 ・700	・	バックガード ※有り	(タコヤマトリI型)
		・つり戸棚	※1200 ・900	・800		○図示
・水切り棚	※1200 ・900		ステンレス製 ※1段式	※市販品		

24	屋内掲示板	枠の材質	※アルミニウム製		
		表面の材質	※塩ビ発泡シート張り		
		材質	メラミン樹脂化粧張り (心材: 集成材)	人工大理石 (仕様は図示)	
		奥行き (mm)	約450	約600	

25	洗面カウンター	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
		・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
		・線入り磨板ガラス	・	・	
		・可動式			
種類	材質	高さ (mm)	備考		
・垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)		
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り		

26	防煙垂れ壁	降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)		
		品質、規格	(財)日本建築センターの防災性能評定品		
		・かこう遊 (文字記号等入り)	※コンクリートブロック製の市販品程度		
		材質	※アルミニウム合金製		
形式	※テーパー型 ・同一断面型				
地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12				
操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式				
固定方法	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式				

27	敷地境界石標	材質	※アルミニウム合金製		
		形式	※テーパー型 ・同一断面型		
		地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12		
		操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式		
固定方法	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式				

28	旗竿	材質	※アルミニウム合金製		
		形式	※テーパー型 ・同一断面型		
		地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12		
		操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式		
固定方法	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式				

29	旗竿受金物	材質	ステンレス製SUS304		
		・耐雪型	○一般型		
		・ビニル被覆エキスバンドフェンス	○樹脂塗装メッシュフェンス	・鋼管フェンス	
		・鋼管フェンス			

30	フェンス	材質	ステンレス製SUS304		
		・耐雪型	○一般型		
		・ビニル被覆エキスバンドフェンス	○樹脂塗装メッシュフェンス	・鋼管フェンス	
		・鋼管フェンス			

31	屋外掲示板	照明器具	※有り ・無し		
		施設	※有り ・無し		
		製造所			
		材質	ステンレス製 (上下式銀内蔵型、反射テープ付き) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm		
図示	※スプリング付 ・スプリング無し				

32	車止め支柱	材質	ステンレス製 (上下式銀内蔵型、反射テープ付き) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm		
		図示	※スプリング付 ・スプリング無し		
		照明器具	※有り ・無し		
		施設	※有り ・無し		

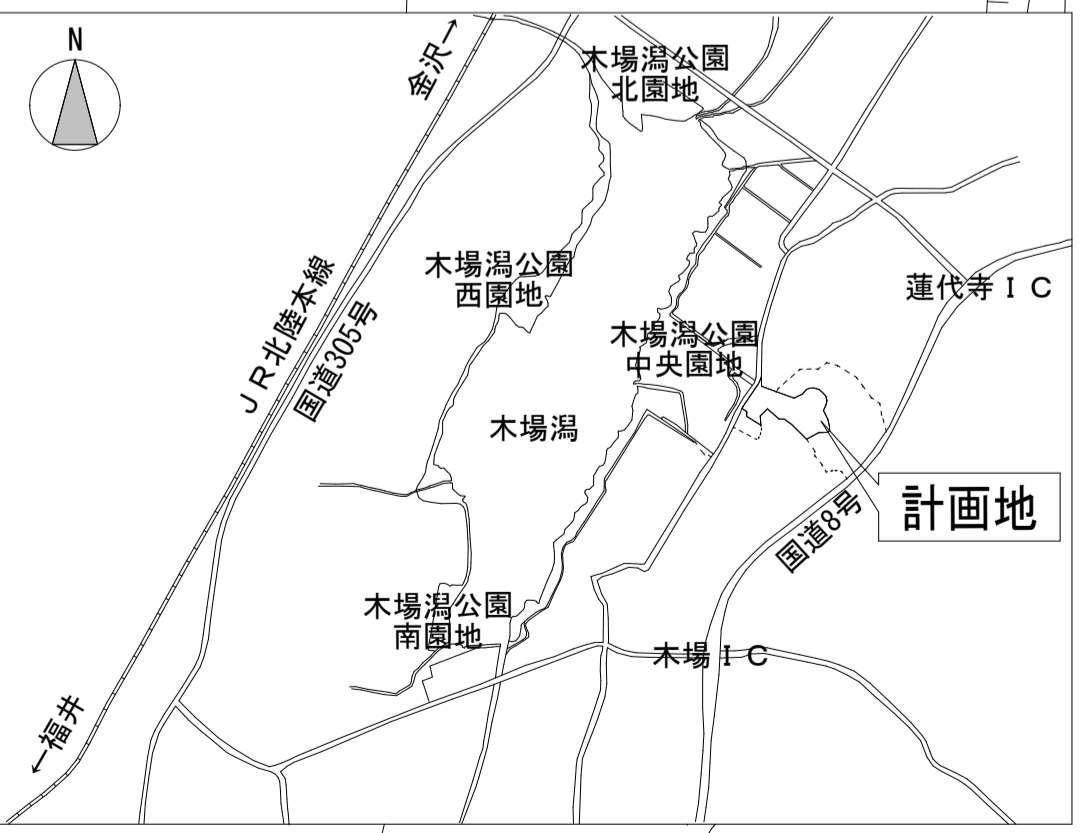
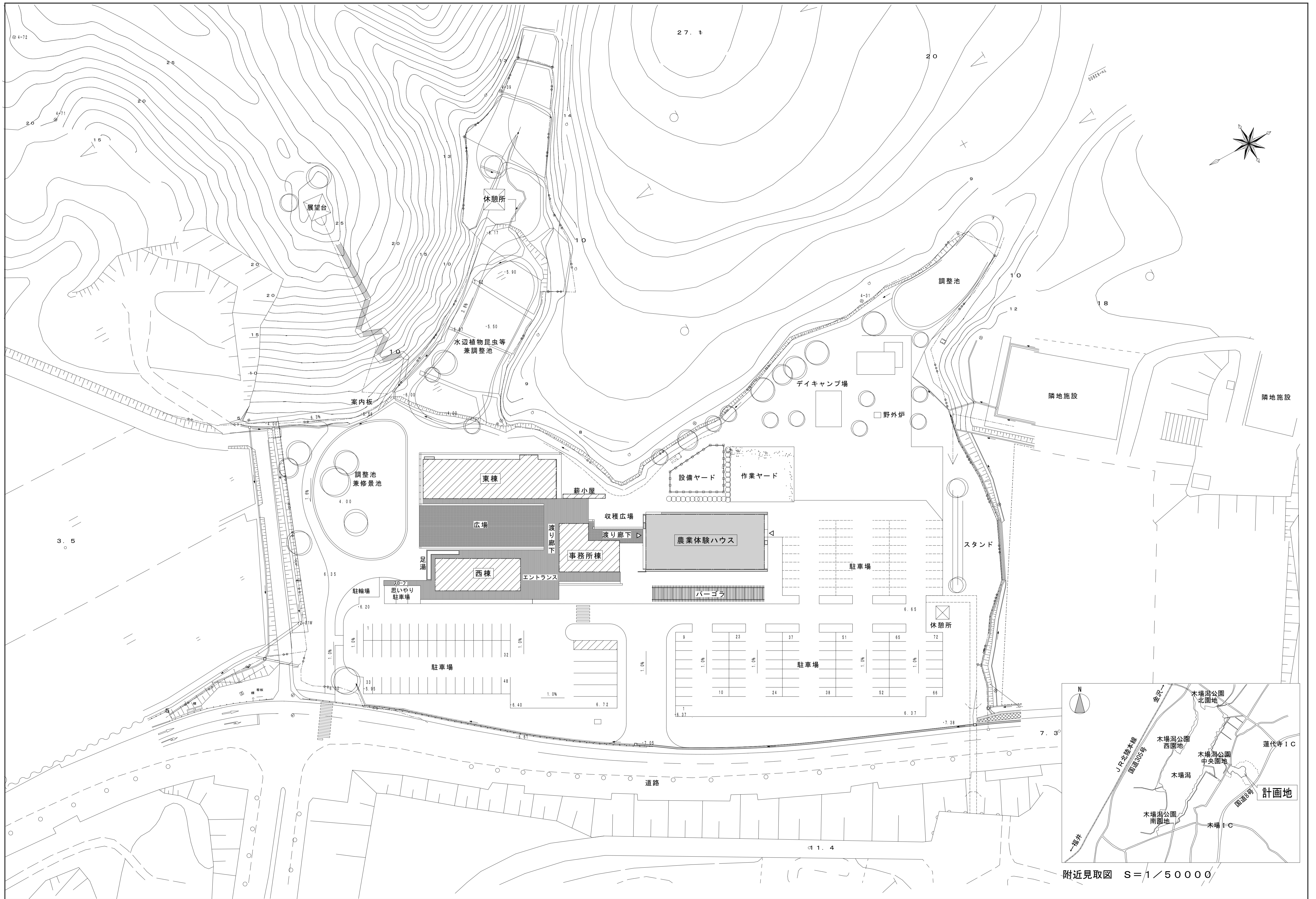
33	建築銘板	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)
		※アルミ製 ・ステンレス製	※アルミ ・ステンレス ・黄銅	下記以外全て	※600×600
		品質及び性能等			
		材質	品質・規格及び性能		
アルミ合金押出型材	JIS H 4100 A6063Sによる	表面処理			
アルミニウム板	JIS H 4000 A1100PH2.4による	A-1種又はA-2種による			
ステンレス製	JIS G 4305 (目地材はG 4308も含む) のSUS304による	表面処理			
寸法許容差 (mm)	受け枠寸法の許容差	±0.5			
	蓋枠寸法の許容差	±0.5			
	受け枠と蓋枠のクリアランス (片側)	2.0以内			
耐荷重性能	荷重Pn=1,000Nにおける蓋中央部の残留たわみ	点検口有効径の0.08%以内			
	耐破壊荷重	荷重値Pnの2倍以上			

34	リサイクル製品の使用	品質	主要構造部材の材料	形状	寸法 (mm)	備考
		・収納家具	JIS S1033 (ワイフ用収納家具) による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	
		・書架	JIS S1039 (書架物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・1種 ・2種 ・3種
		・物品棚	JIS S1039 (書架物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示 ・	JIS S1039による種類 ・5種 ・6種 ・7種
・移動式書架・物品棚		・図示 ・木製	・図示 ・			

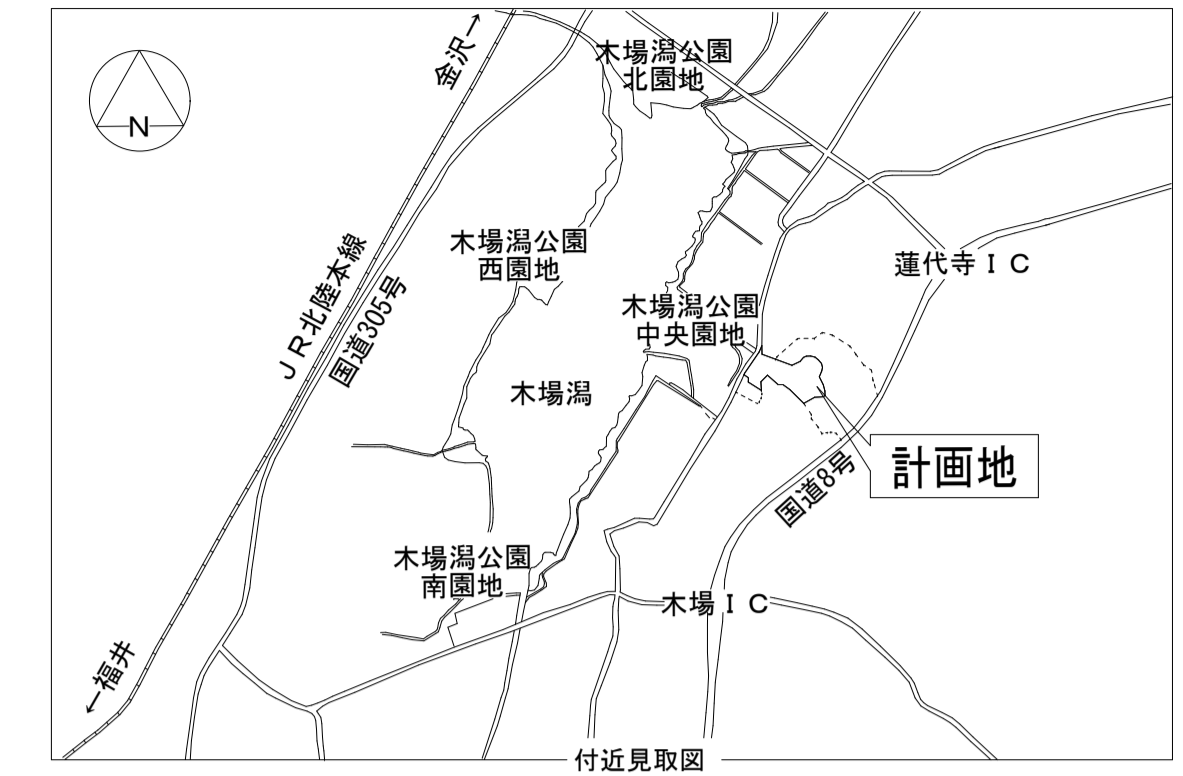
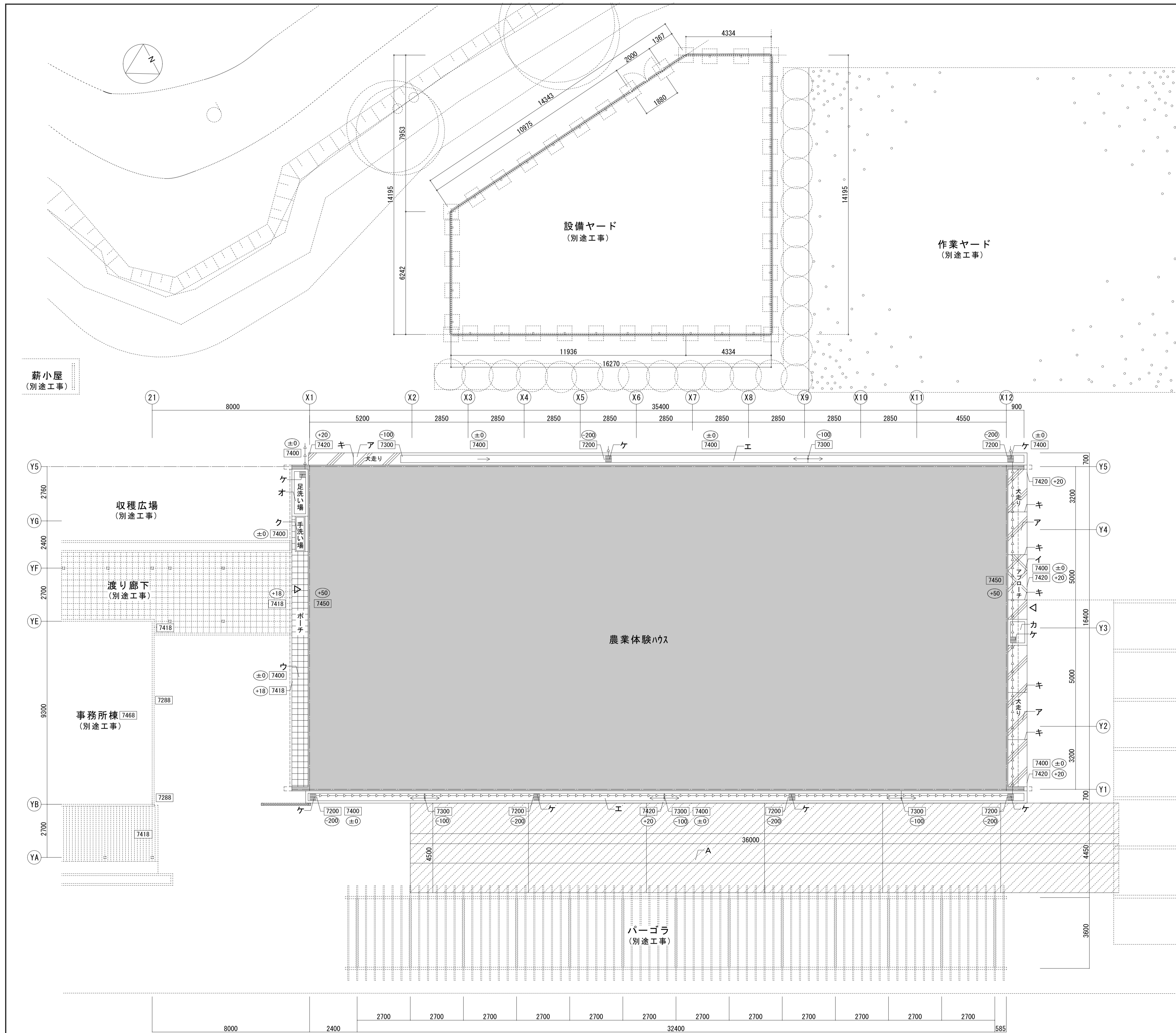
35	伝統産業工芸品の使用	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種			
		市販品			
		形式			
		・30組用 ・60組用 ・120組用			

36	くつふきマット	材質	塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)			
		種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	
		○疏し台	※1200 ・1500	○1800	トラップ付き	※優良住宅部品
		・コンロ台	※600 ・700	・	バックガード ※有り	(タコヤマトリI型)
・つり戸棚	※1200 ・900	・800		○図示		
・水切り棚	※1200 ・900		ステンレス製 ※1段式	※市販品		

37	流し台ユニット	種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	
		○疏し台	※1200 ・1500	○1800	トラップ付き	※優良住宅部品
		・コンロ台	※600 ・700			



附近見取図 S=1/50000



総括表			
地名・地番	小松市三谷町 地内		
用途地域	未指定		
防火指定	未指定		
	農業体験ハウス	里山交流ハウス等	合計
敷地面積			166,801.65㎡
建築面積	606.80㎡	1,748.48㎡	2,355.28㎡
床面積	1階	580.56㎡	1,229.75㎡
	合計	580.56㎡	1,229.75㎡

指定仮設 凡例	
	農業体験ハウス
A	仮設 t22鉄板敷き 162m ²

外構工事 凡例	
ア	南、西側犬走り：t120土間コンクリート刷毛引き仕上 (部分詳細参照)
イ	アプローチ：t150土間コンクリート刷毛引き仕上 (部分詳細参照)
ウ	東側犬走り：t120土間コンクリート下地300角タイル貼 (部分詳細参照)
エ	コンクリート側溝 (部分詳細参照)
オ	足洗い場 (部分詳細参照)
カ	下流し (部分詳細参照)
キ	目地切
ク	手洗い場 (家具図参照)
ケ	排水樹 300×300 B種 (部分詳細参照)
	排水管VP100埋設(端部キャップ止)
7418	標高高さ
±0	設計GL 7400 = 設計GL±0 (造成面高さ)

薪小屋
(別途工事)

設備ヤード
(別途工事)

作業ヤード
(別途工事)

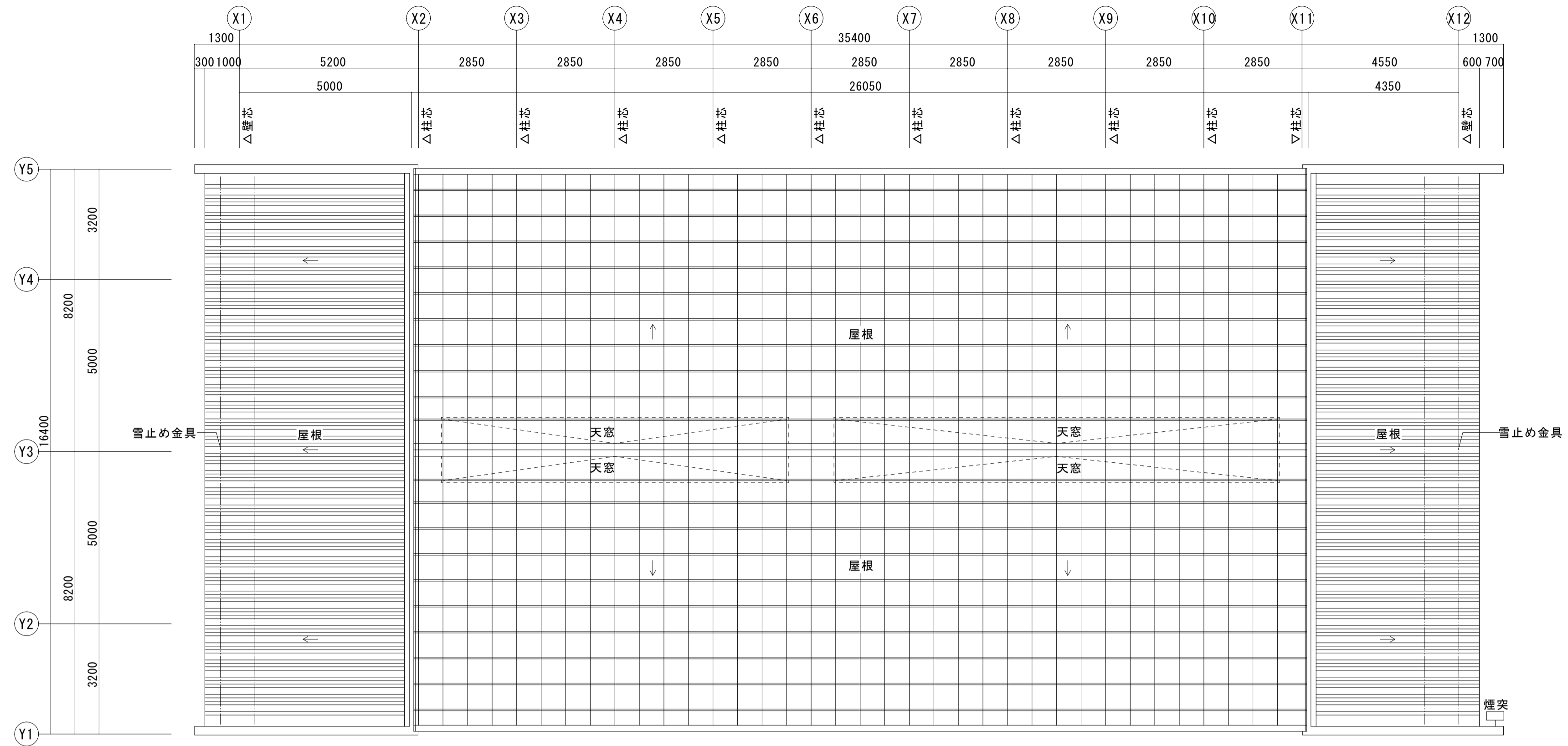
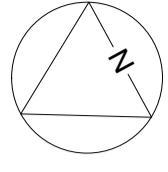
収穫広場
(別途工事)

渡り廊下
(別途工事)

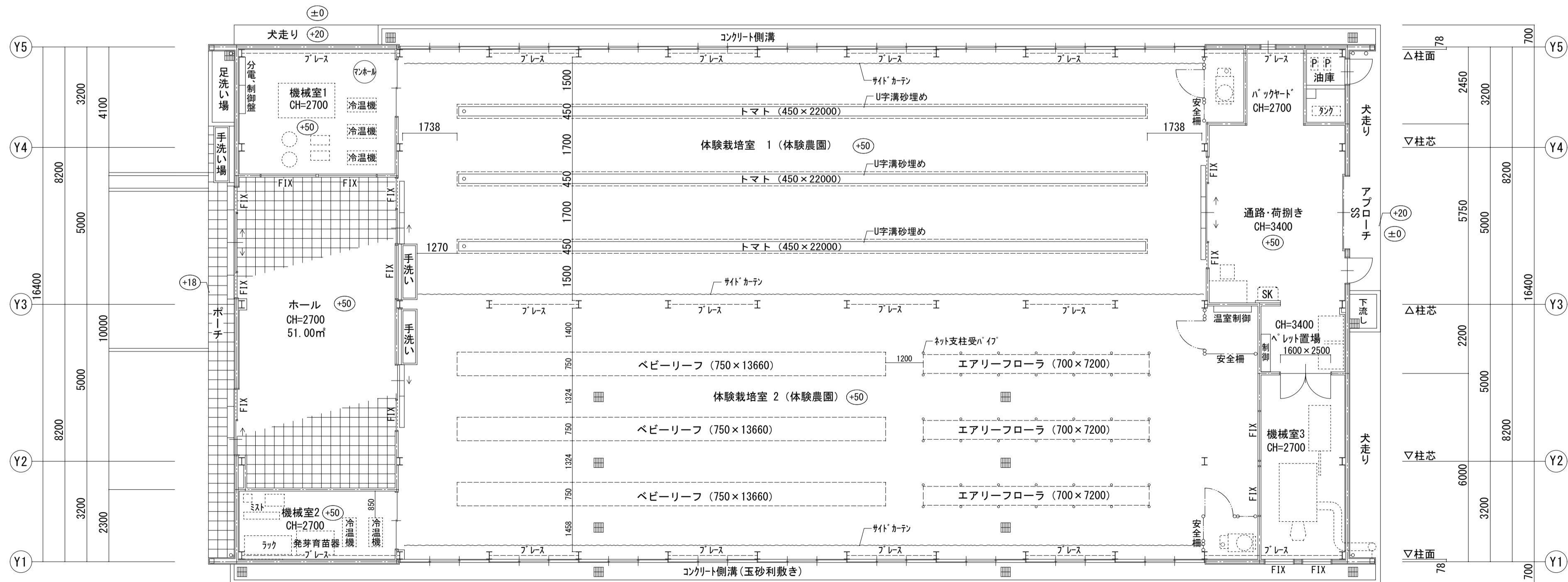
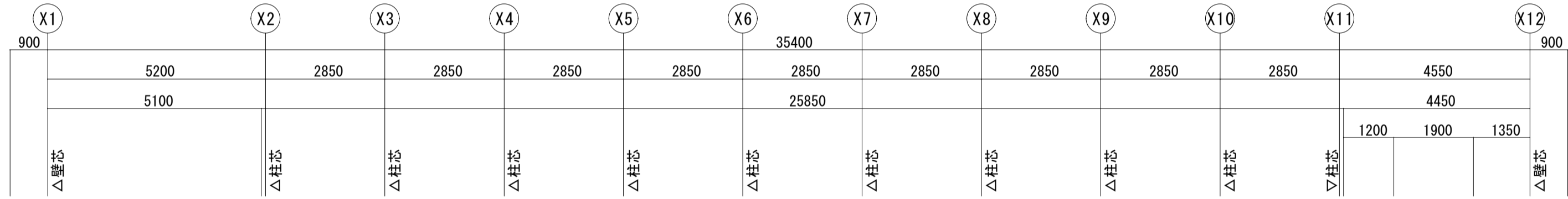
事務所棟 7468
(別途工事)

農業体験ハウス

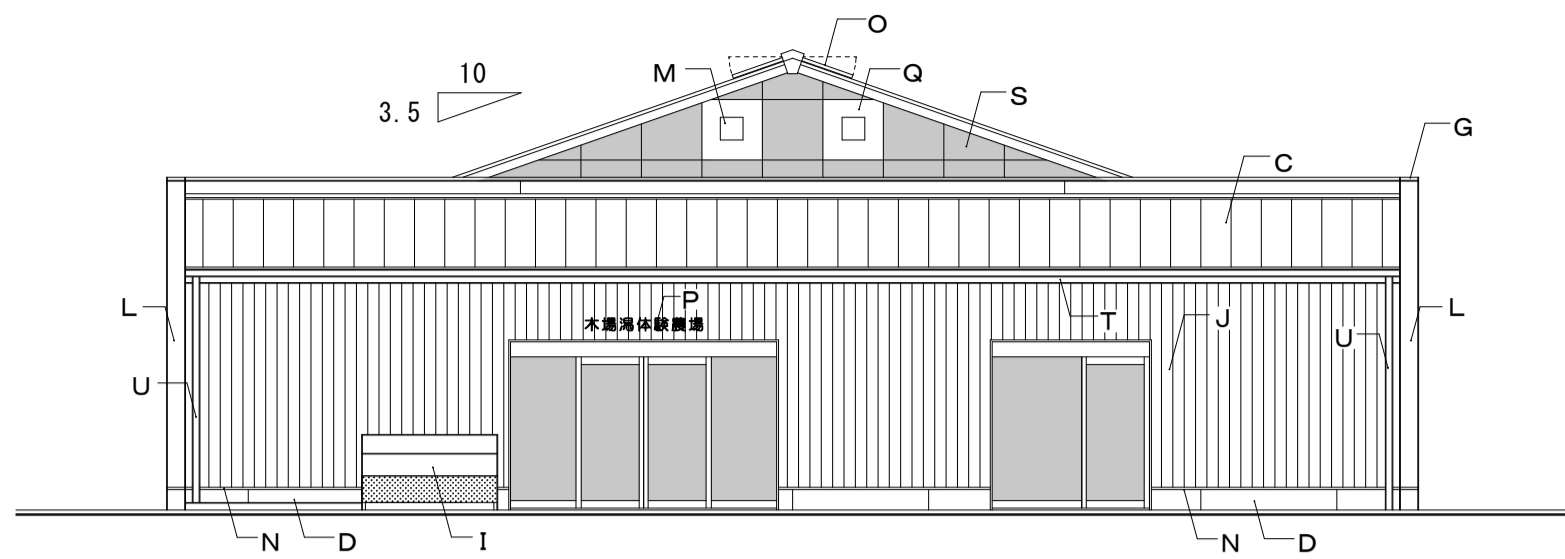
パーゴラ
(別途工事)



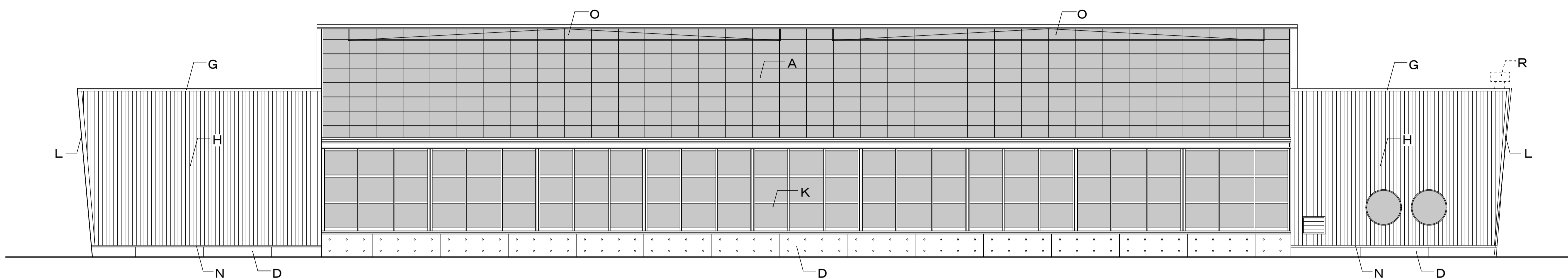
屋根伏図



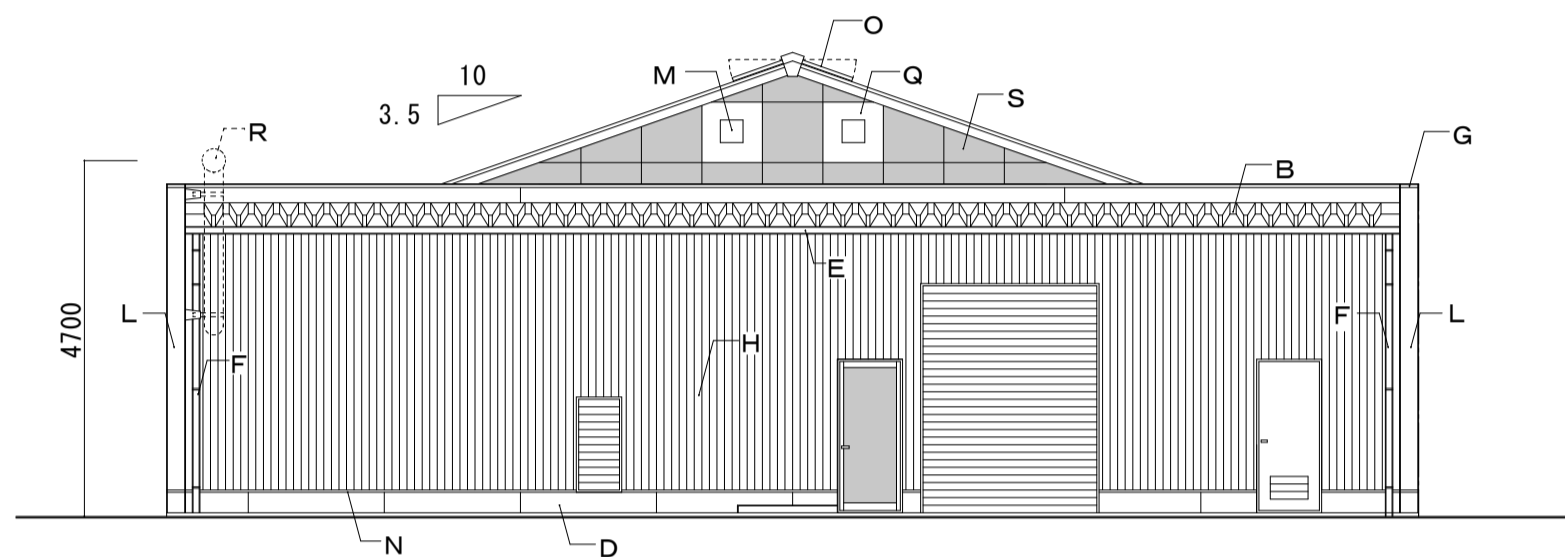
1階平面図



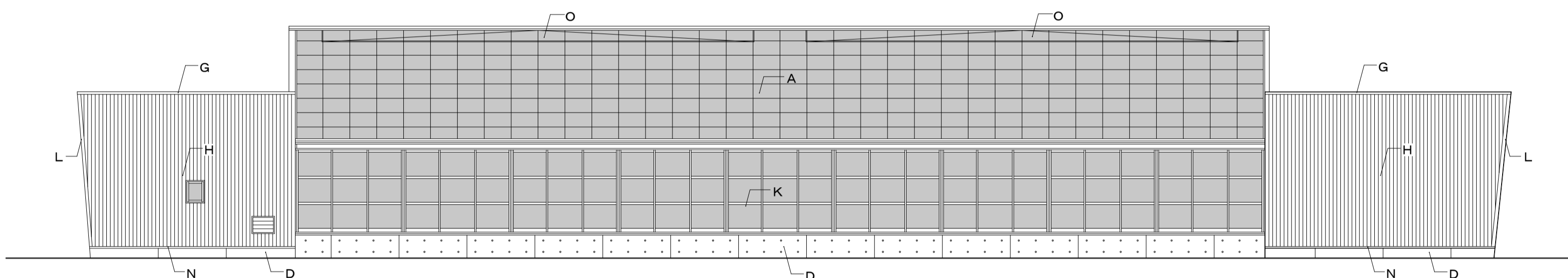
北立面図



西立面図

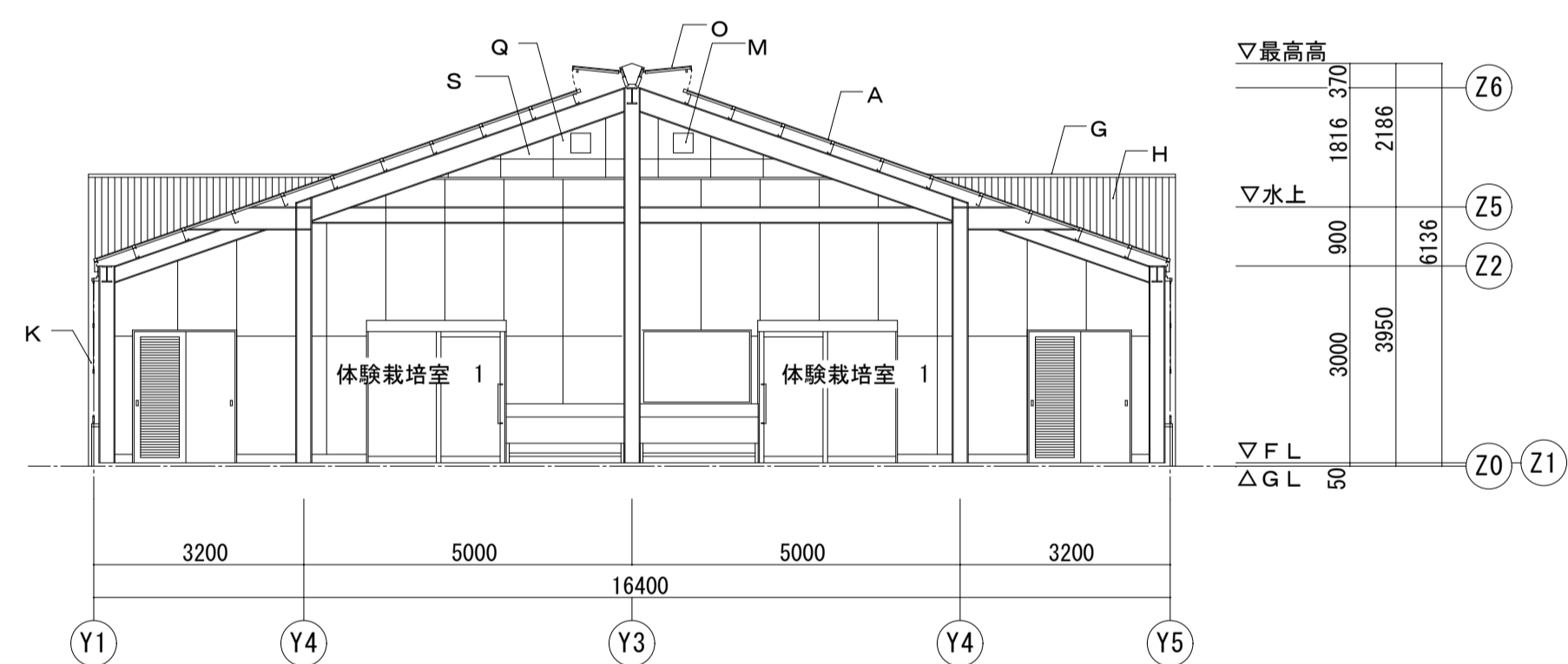


南立面図

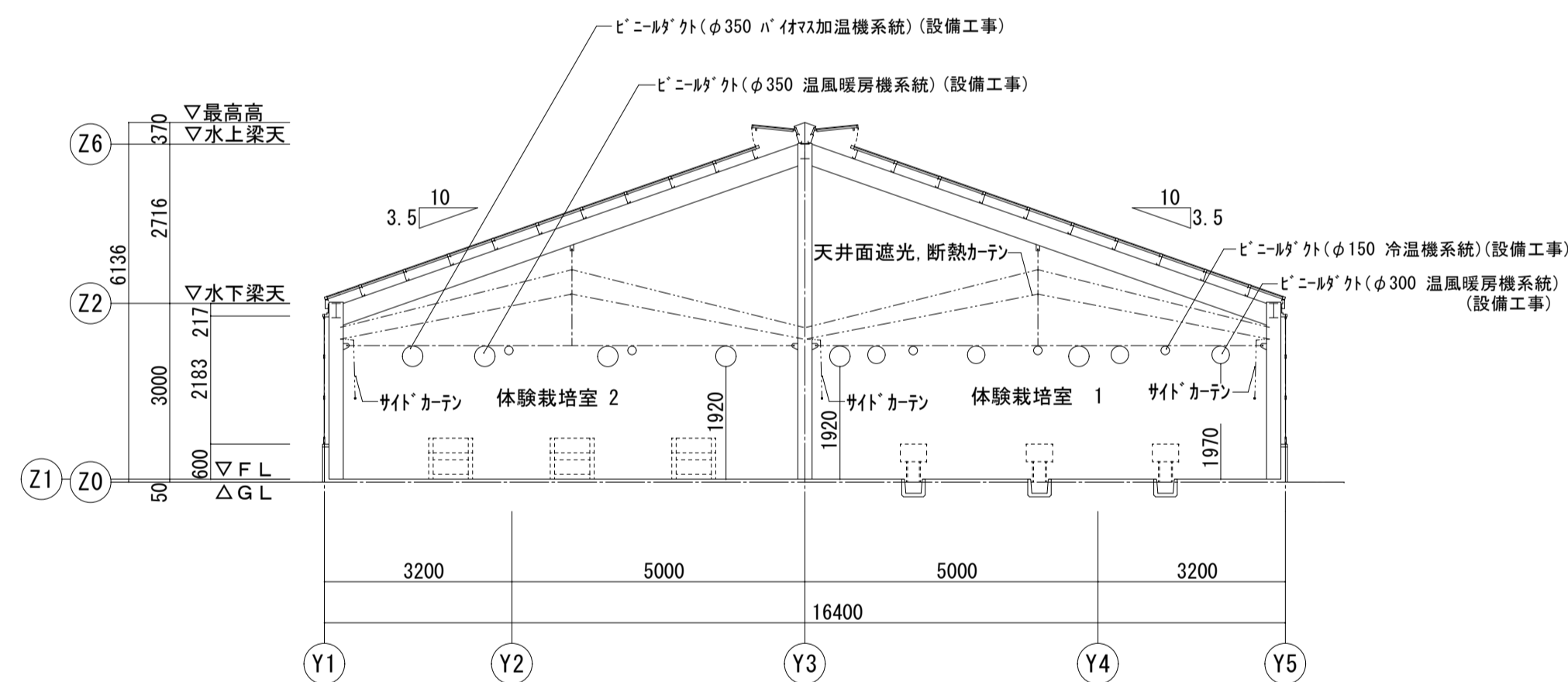


東立面図

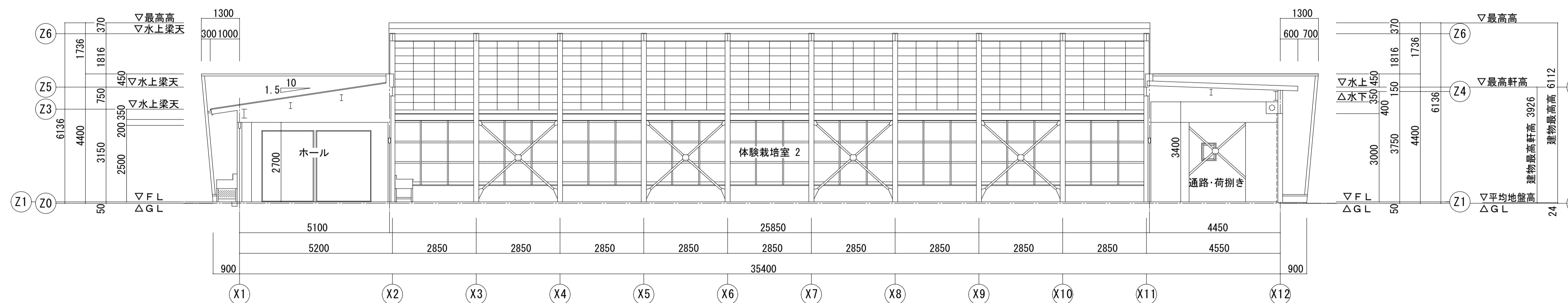
外部仕上げ凡例	
A	屋根:7&ミズレム ガラスFL10
B	屋根:t0.8 カラーガルバリウム鋼板丸馳折板Ⅲ型葺
C	屋根:t0.4 カラーガルバリウム鋼板立馳葺
D	根廻:塗装合板コンクリート打放し 撥水材吹付
E	折板用カー塩L'箱樋 W=120(垂鉛材)挿み金物
F	カー塩' 縦樋φ60(垂鉛材)挿み金物
G	笠木:7&ミズレム W=250
H	外壁:t0.4カラーガルバリウム鋼板スリット'レ貼 (8山)
I	手洗い場 (家具図参照)
J	縦羽目板貼 県産杉 t18(上小節) 木材保護塗料塗
K	7&ミズレム引違いサッシ
L	小口:t0.8カラーガルバリウム鋼板曲げ加工'レ貼 W=180
M	換気扇 (ウレザ'カー-) (別途工事)
N	水切:t0.35 カラーガルバリウム鋼板曲げ加工
O	開閉式天窗
P	館名サイン (サイン図参照)
Q	t3.07&ミズレム'レ貼 (換気扇用開孔共)
R	煙突 (別途工事)
S	妻壁:7&ミズレム ガラスFL5
T	7&ミズレム軒樋170×105
U	7&ミズレム縦樋φ89(パ'ント'レ)



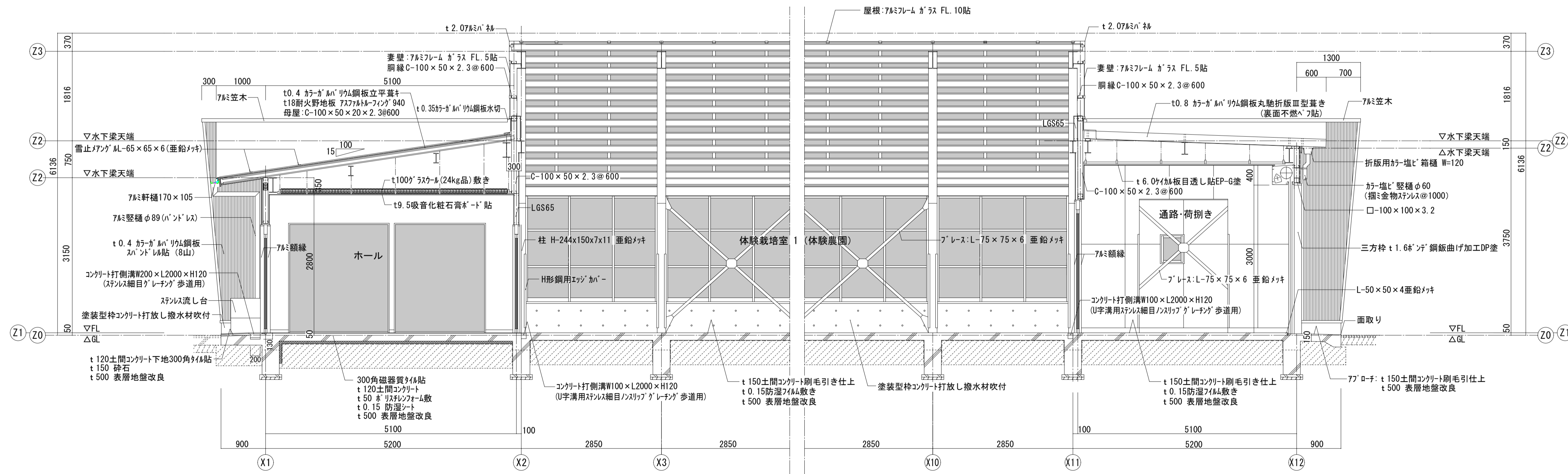
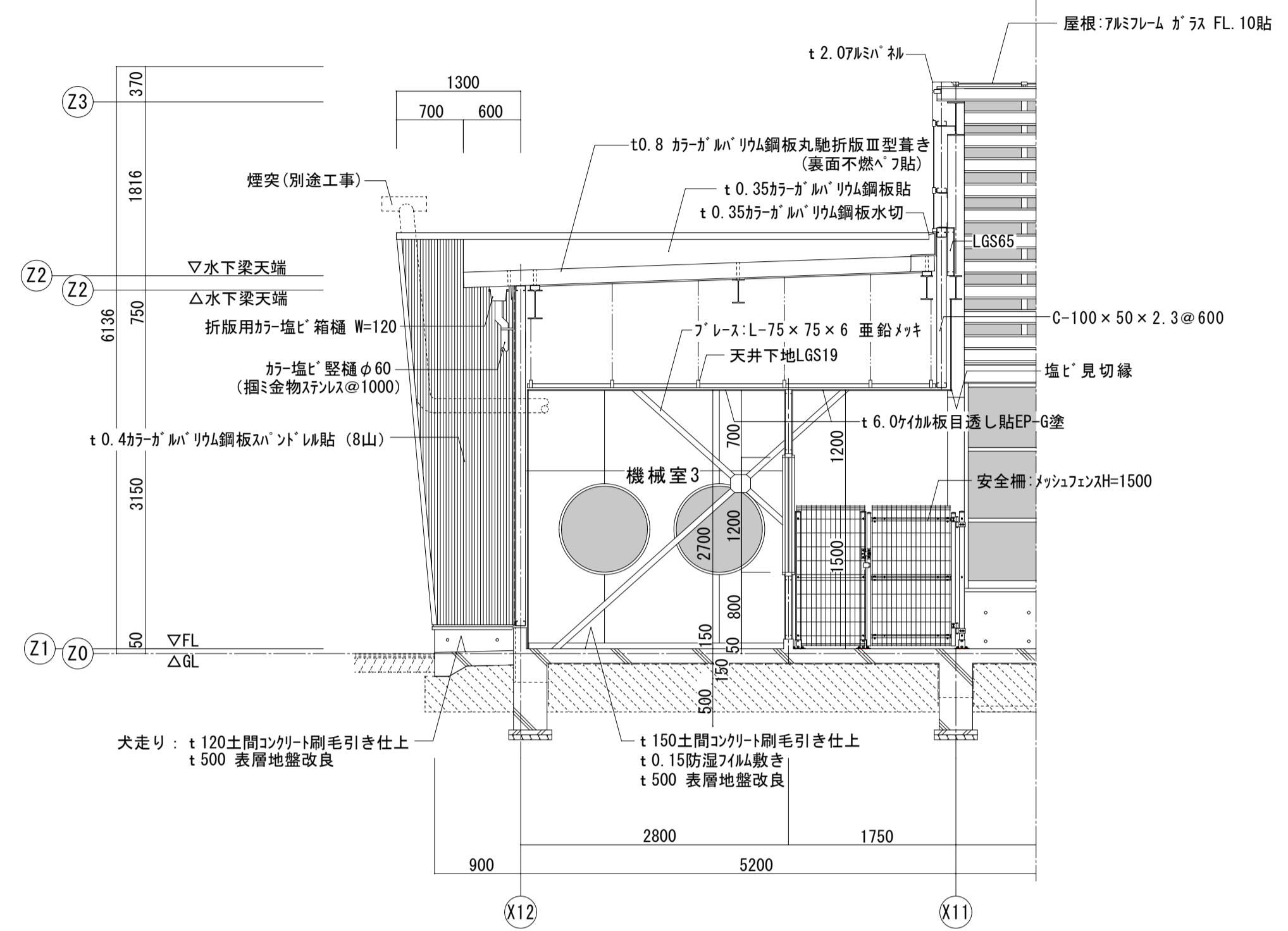
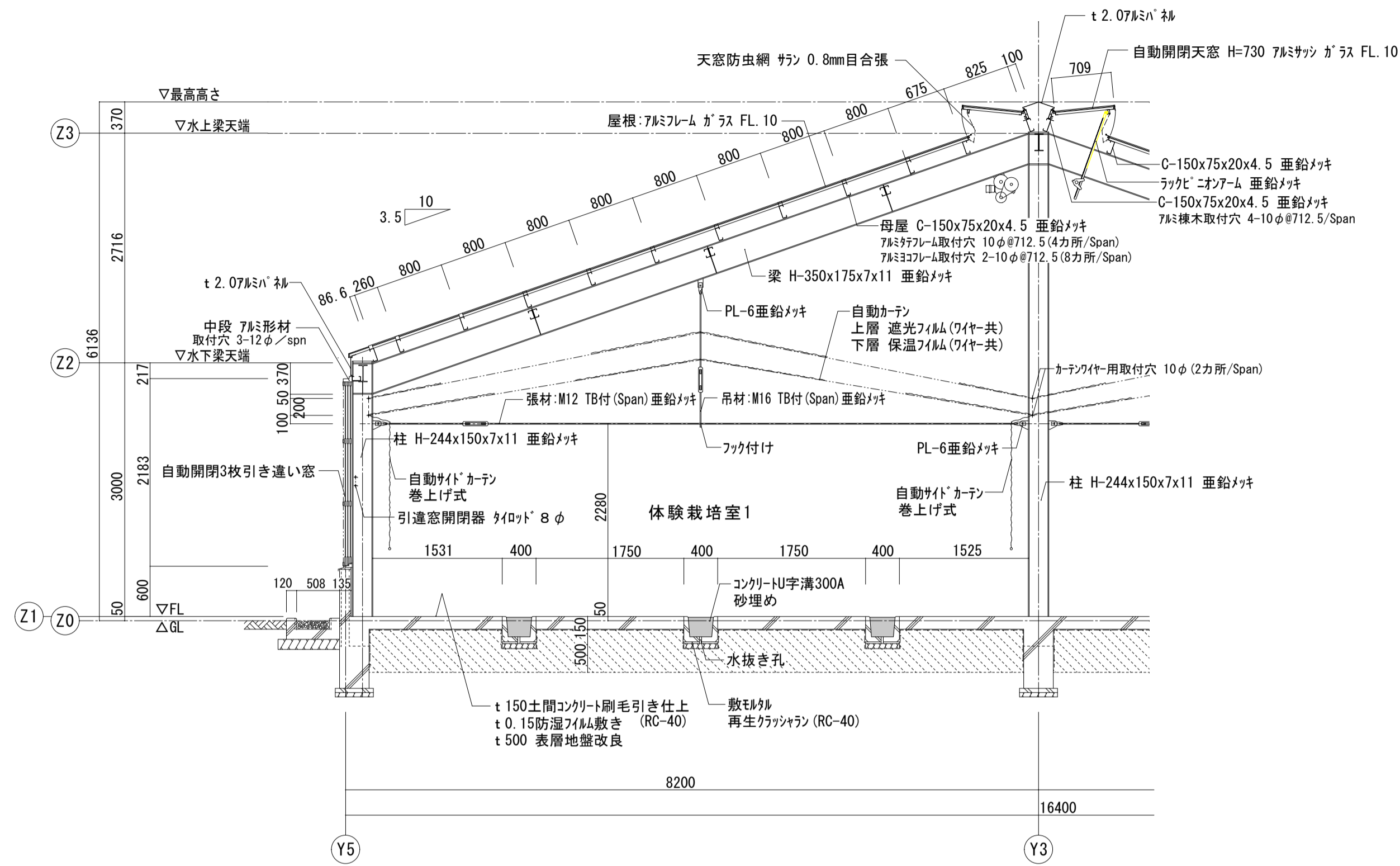
X2通り断面図

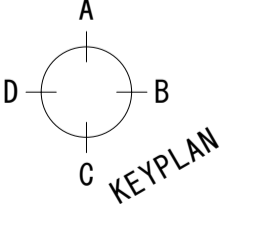
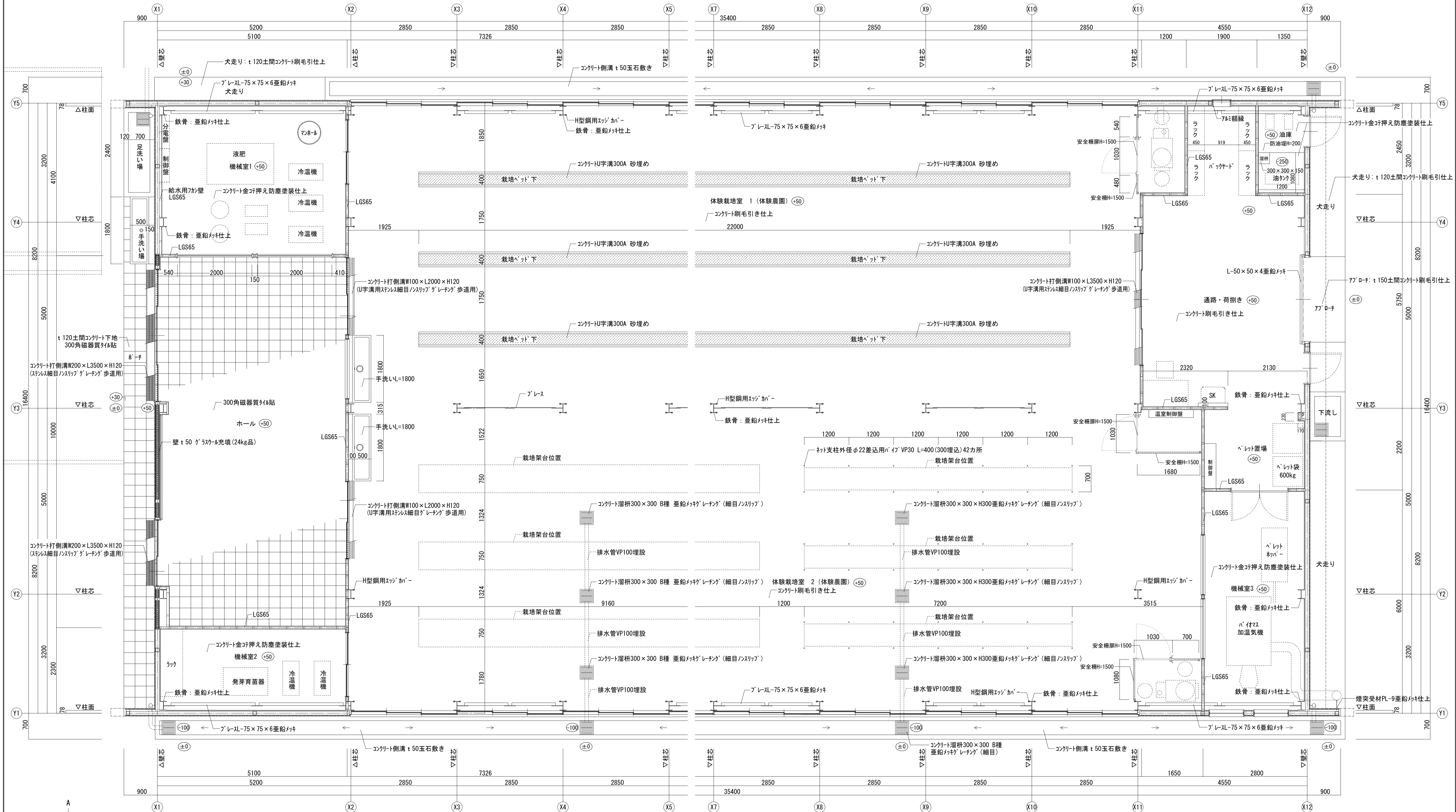
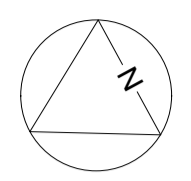


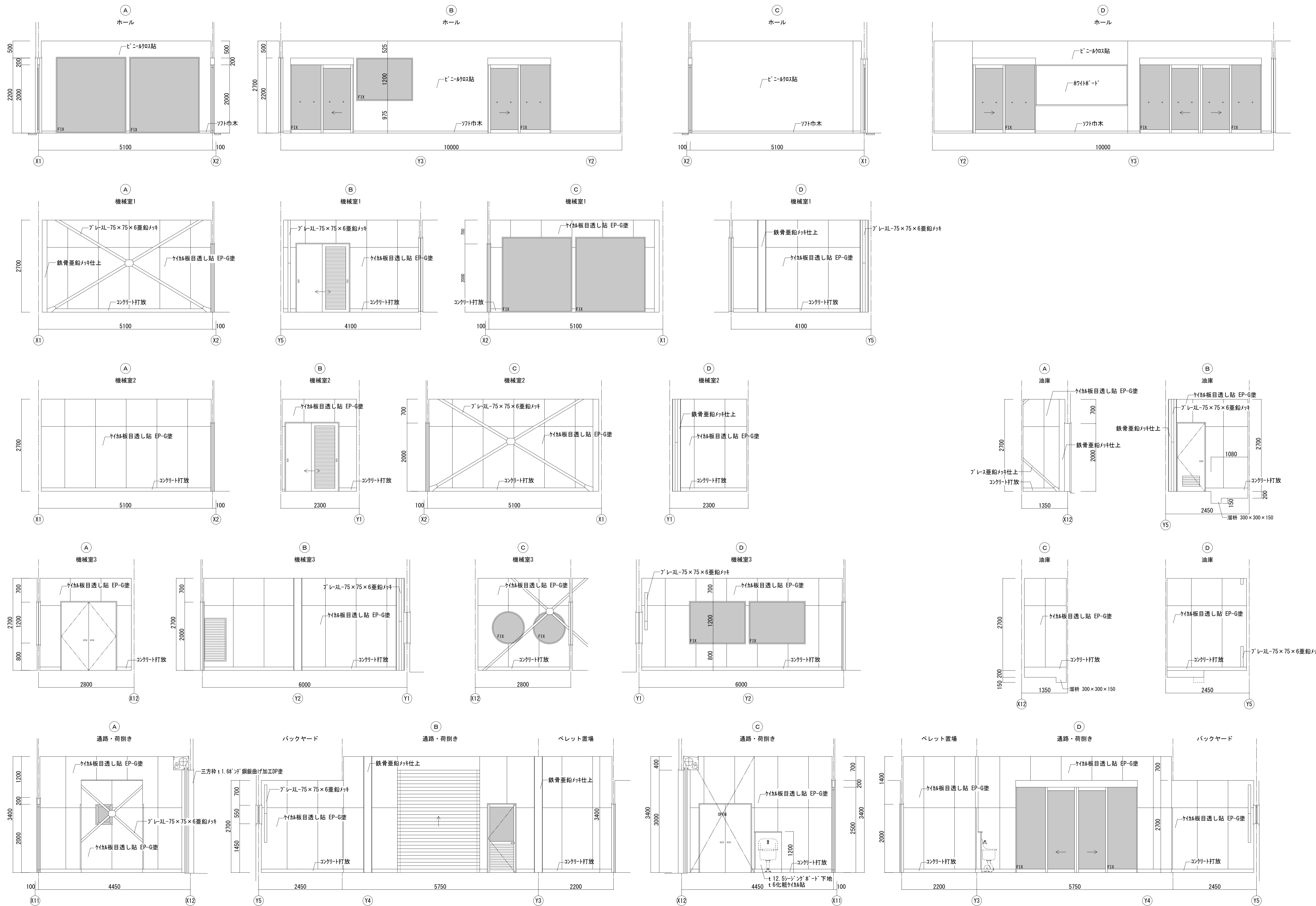
X5通り断面図

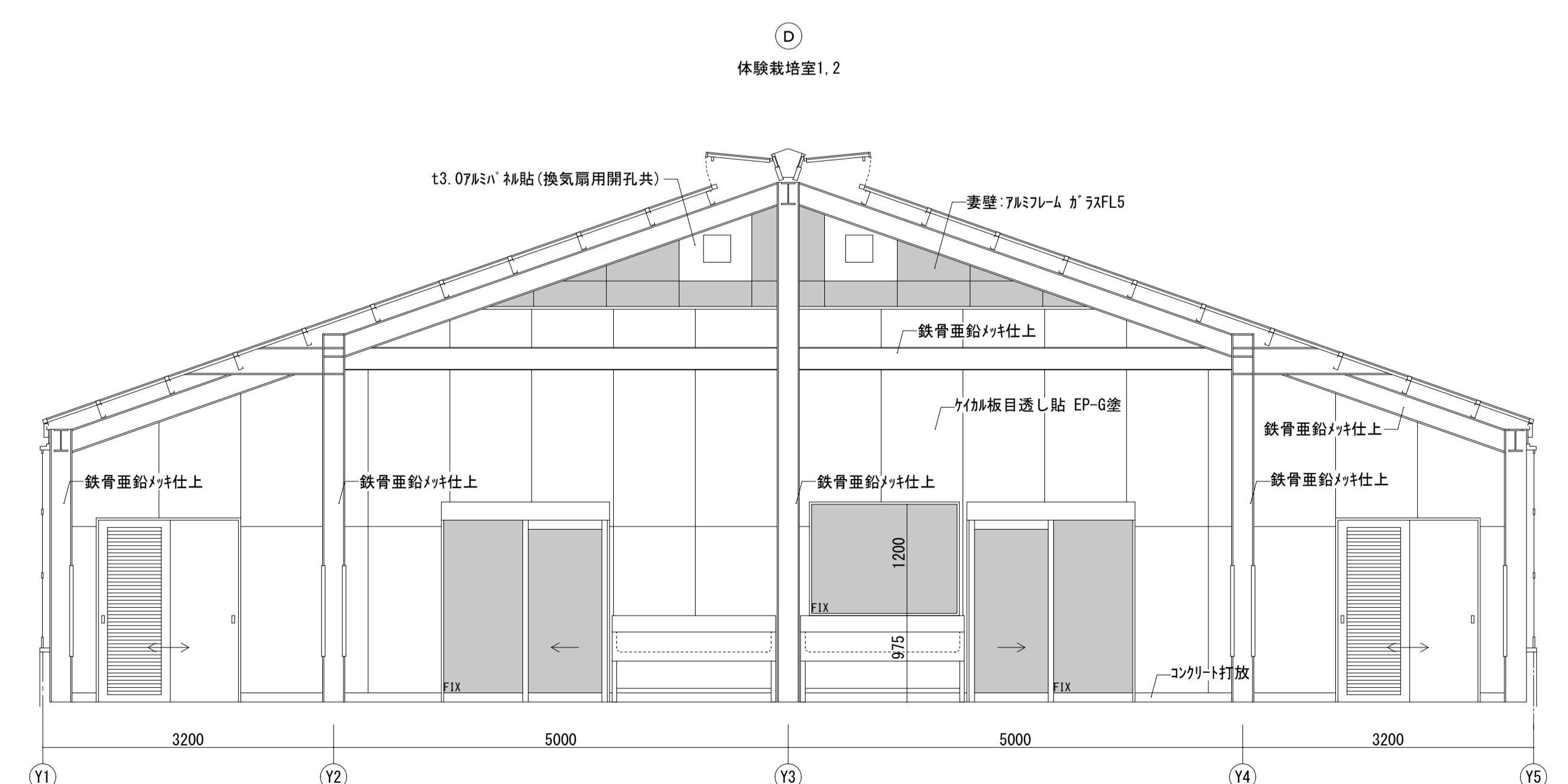
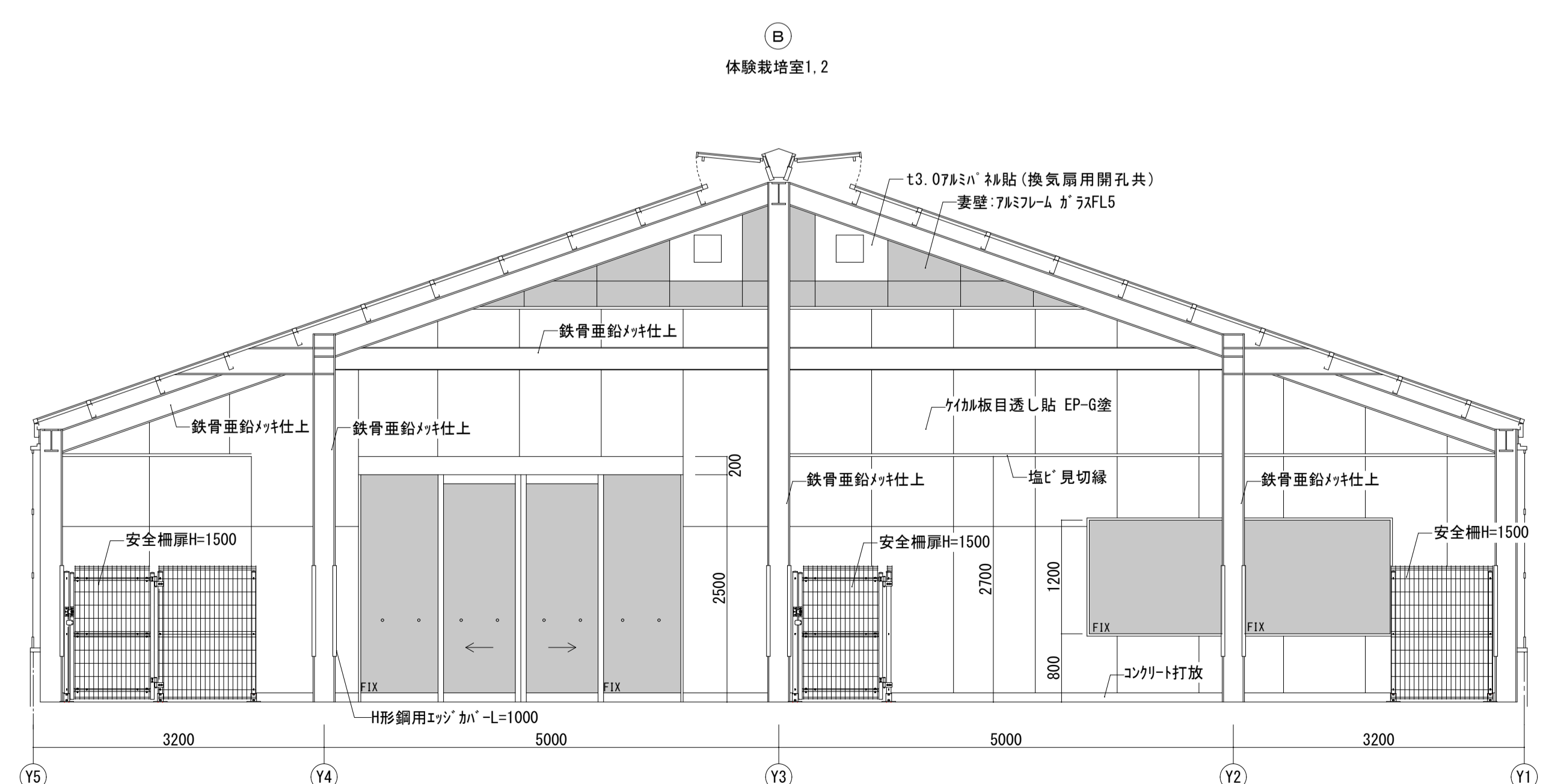
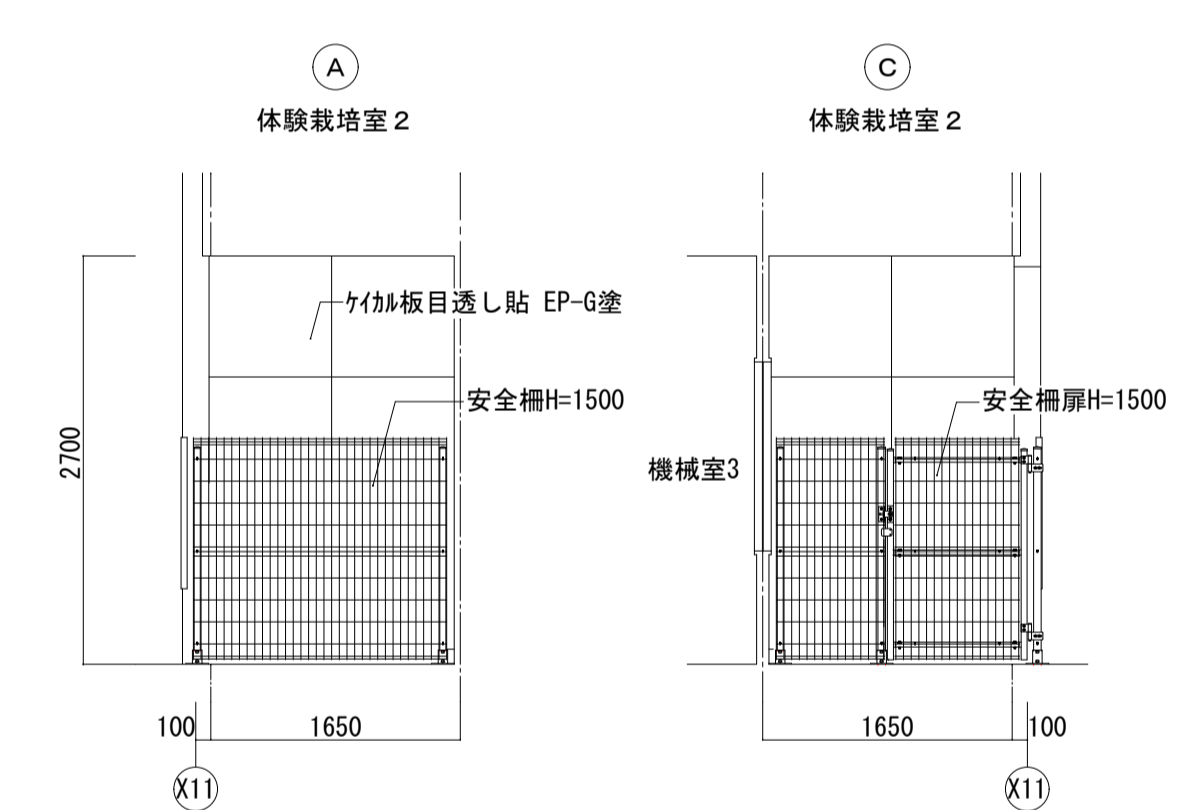
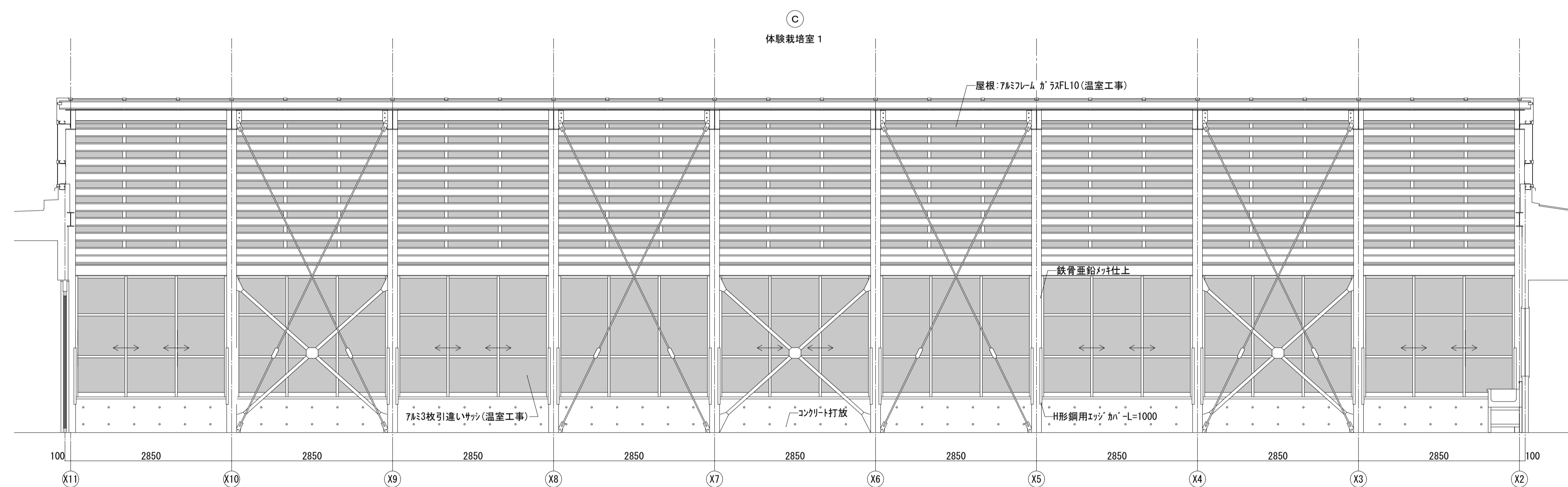
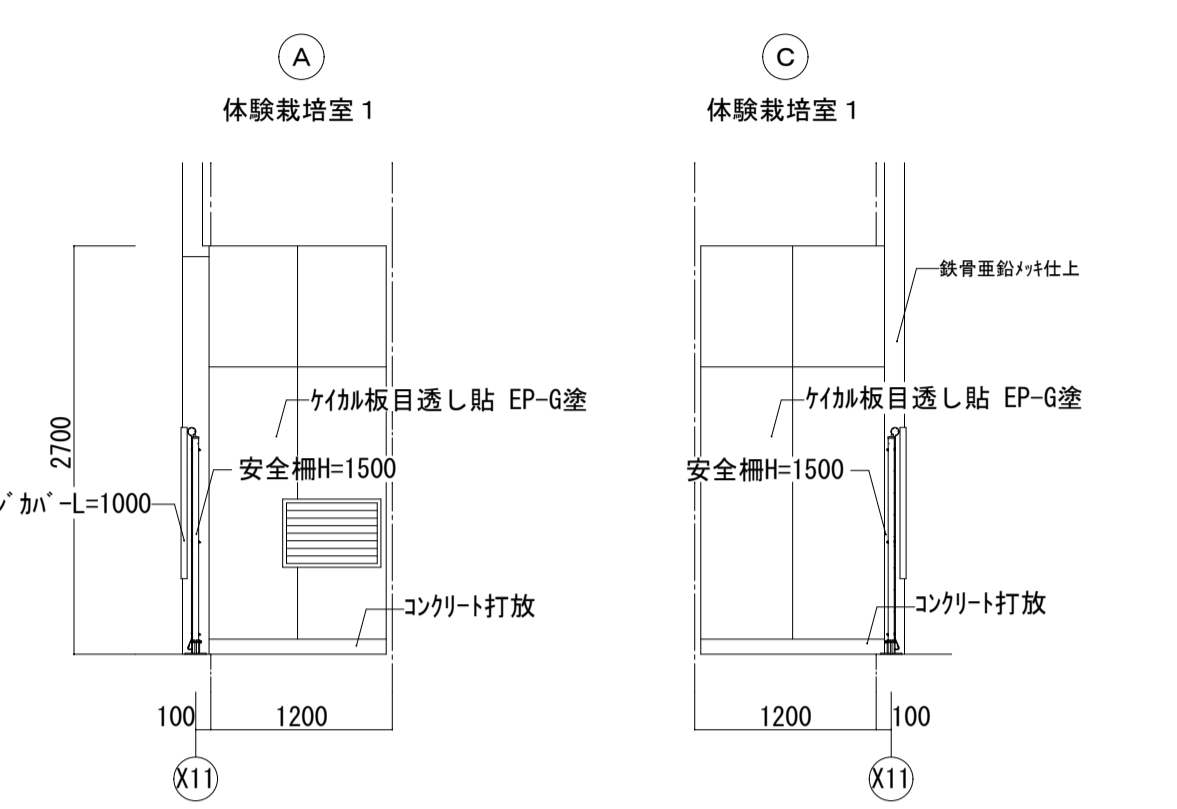
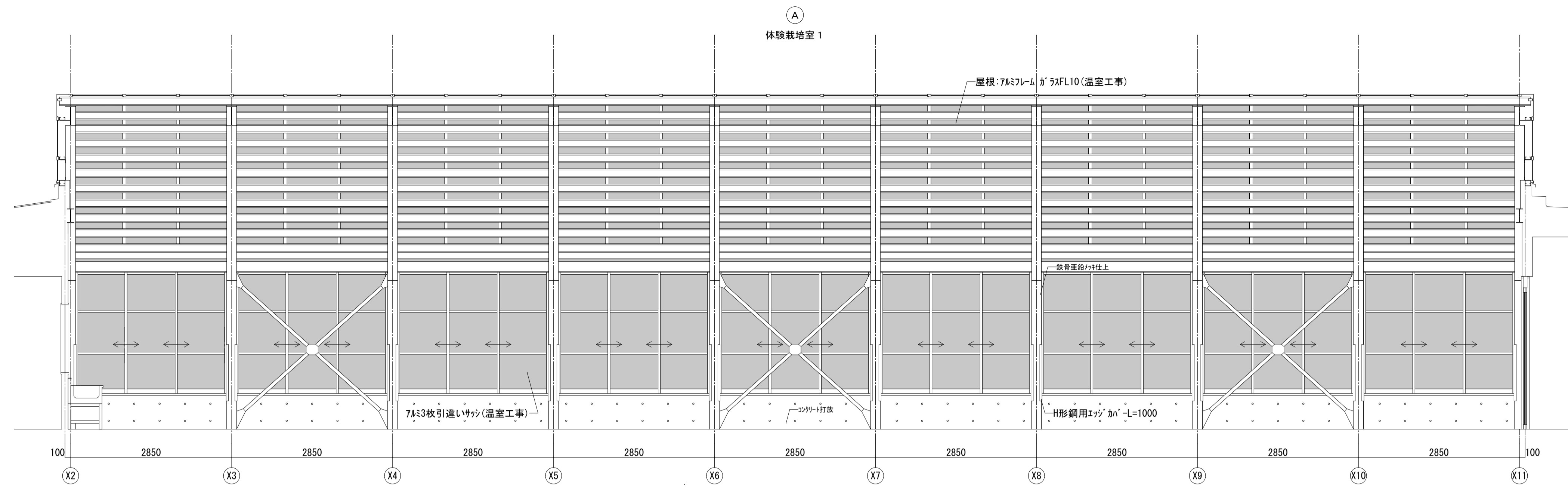


Y3通り断面図

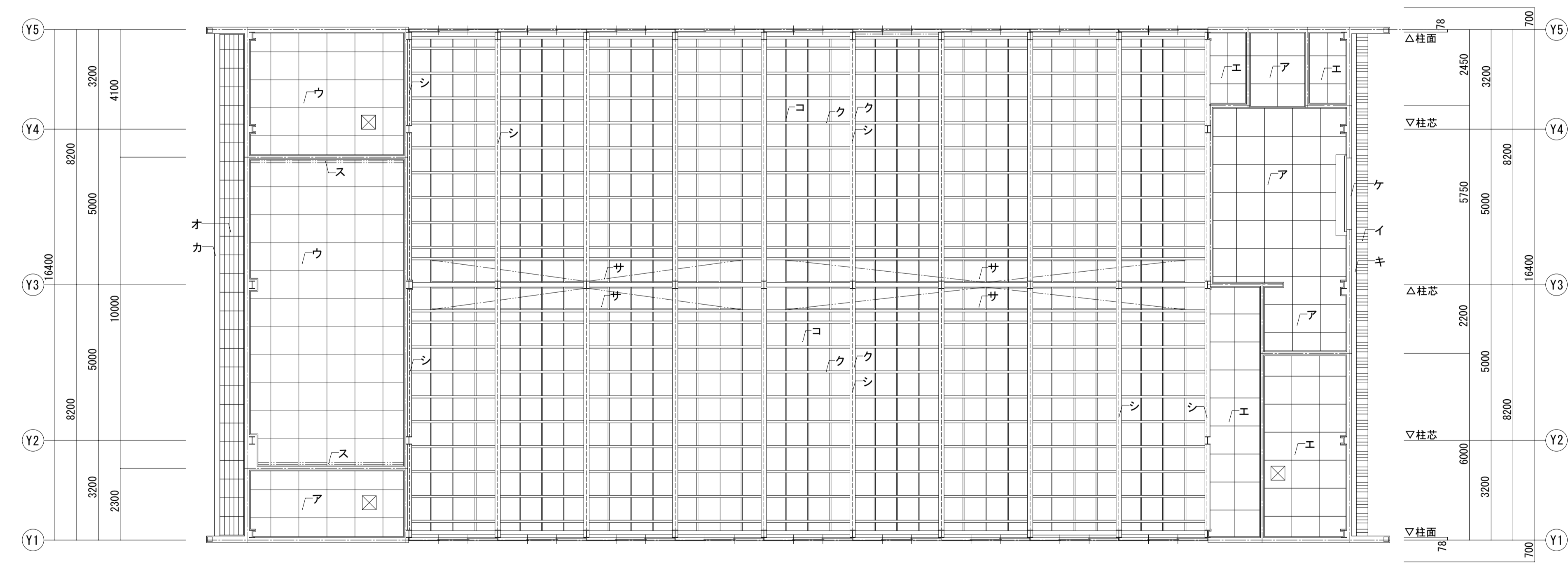
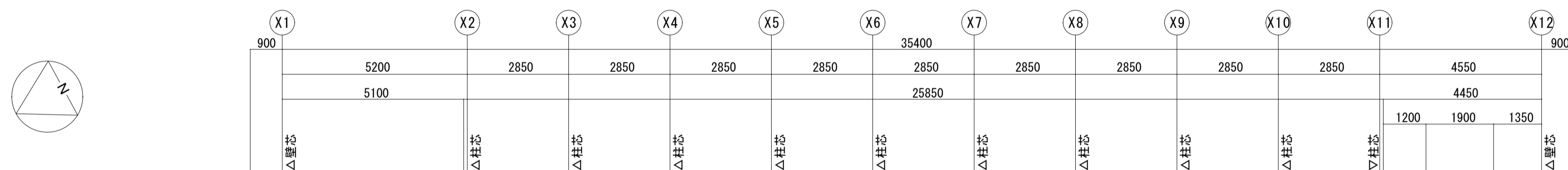




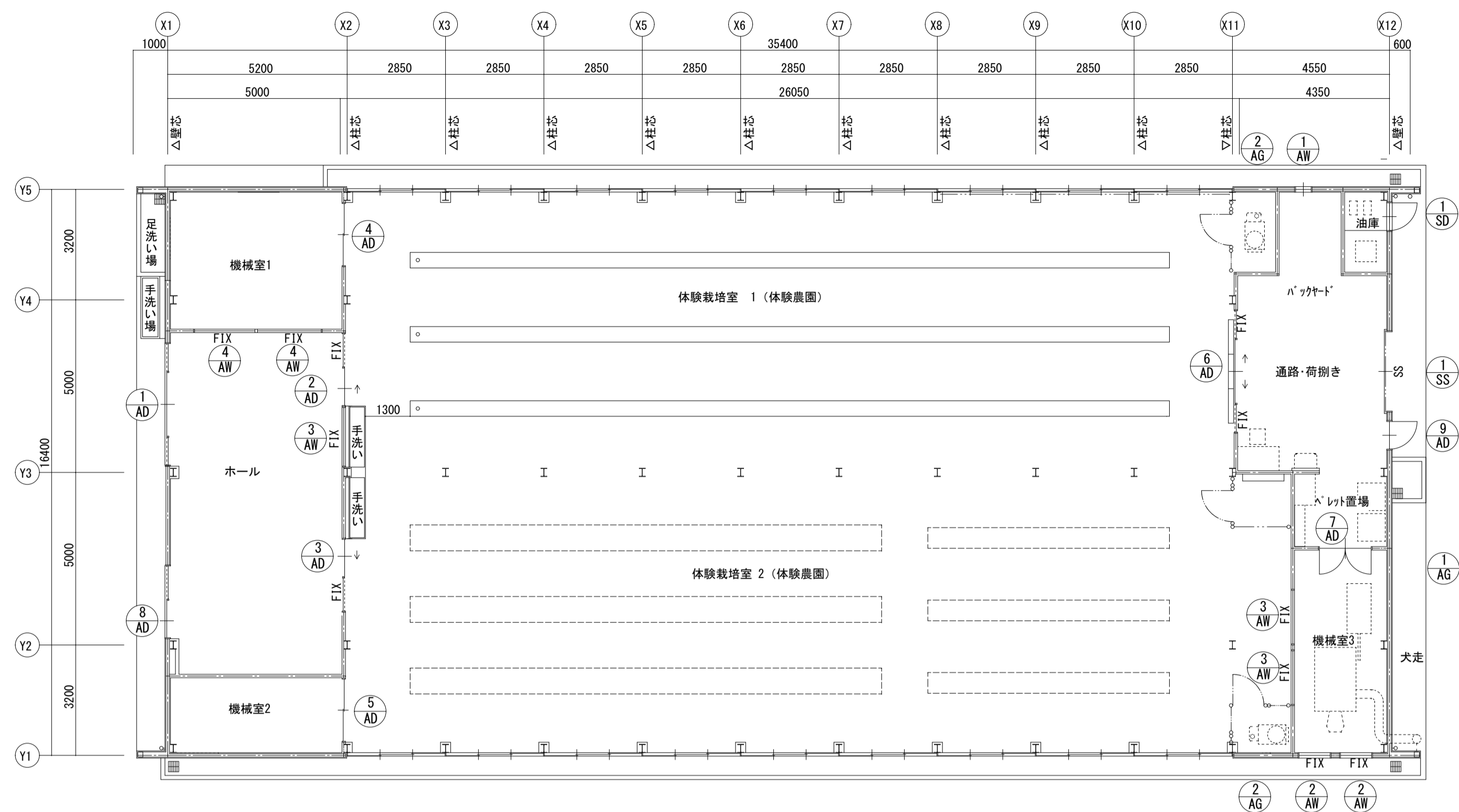




凡 例					
ア	t9.5化粧石膏ボード貼	カ	7M2軒樋	サ	自動開閉天窓 ガラス FL.10
イ	折版あらわし	キ	塩ビカー箱樋	シ	張材:M12 TB付 亜鉛メッキ(体験栽培室スパン毎)
ウ	t9.5化粧石膏吸音ボード貼	ク	鉄骨見え掛 亜鉛メッキ仕上	ス	ビクチャール
エ	t67kg板目スチン貼 EP-G塗	ケ	三方枠 t0.8鋼板曲げ加工DP塗	☒	天井点検口450×450
オ	t12杉板(上小節)小巾板貼 木材保護塗料塗	コ	7M2フレーム ガラスFL.10 (温室工事)		



天井伏図



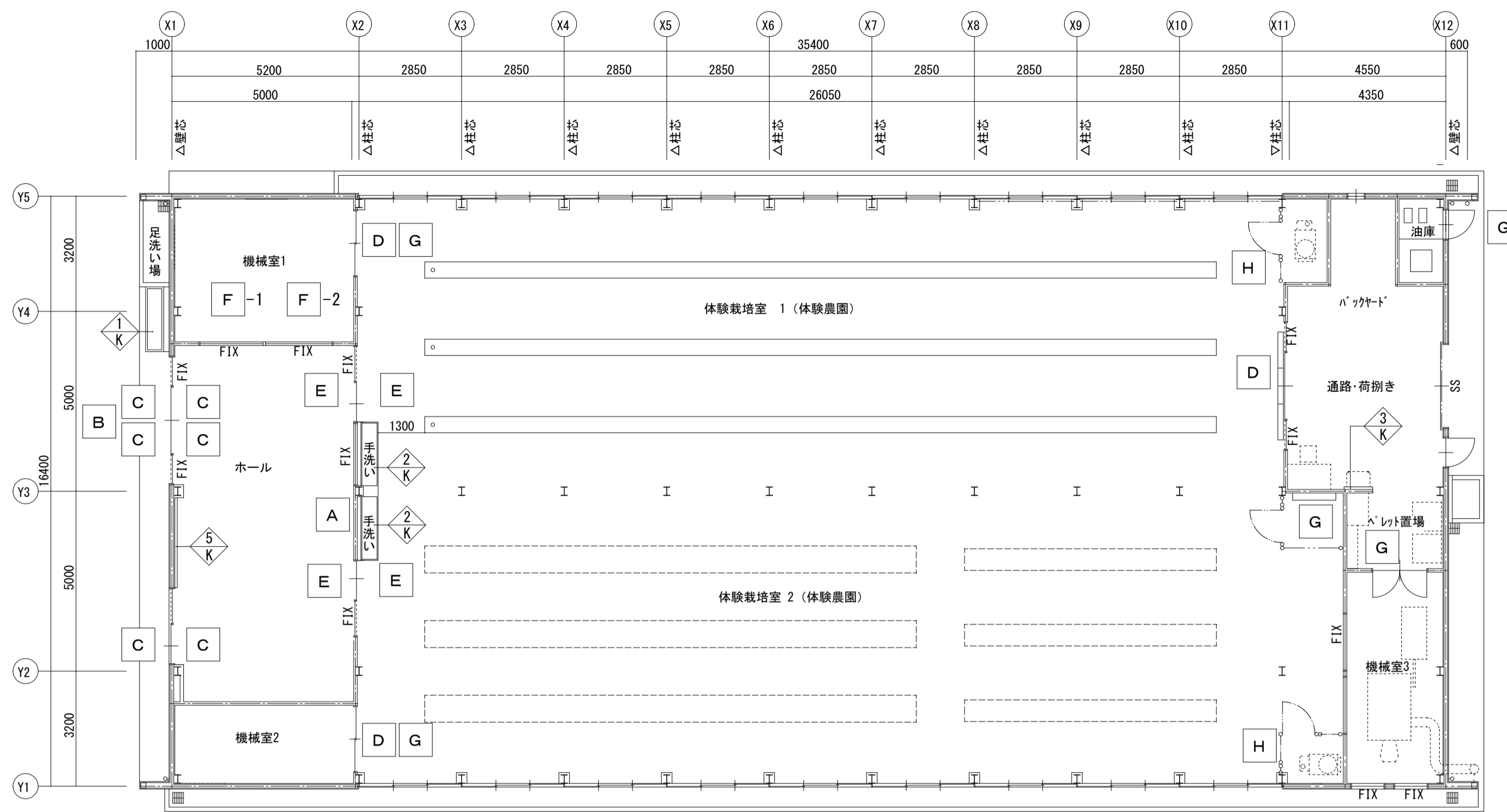
1階建具符号図

建具リスト1

1	符号	取付箇所	ホール	1	符号	取付箇所	ホール
2	形式	引き分れオートド7		2	形式	FIX付片引きオートド7	
3	数量	1		3	数量	1	
4	見込	70		4	見込	70	
5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)	
6	硝子	FL5+AG+FL5 (ガラスフィルム貼)		6	硝子	G-B-FL5 (ガラスフィルム貼)	
7	塗装	-		7	塗装	-	
8	附属金物	ハンガーボックス ドアエンジン 検知器 サムターン錠 7&M額縁 戸当ゴム		8	附属金物	ハンガーボックス ドアエンジン 検知器 サムターン錠 7&M額縁 戸当ゴム	
9	摘要			9	摘要		

1	符号	取付箇所	ホール	1	符号	取付箇所	ホール
2	形式	FIX付片引きオートド7		2	形式	引違いラッシュド7 (片側固定ガリ)	
3	数量	1		3	数量	1	
4	見込	70		4	見込	70	
5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)	
6	硝子	G-B-FL5 (ガラスフィルム貼)		6	硝子	-	
7	塗装	-		7	塗装	-	
8	附属金物	ハンガーボックス ドアエンジン 検知器 サムターン錠 7&M額縁 戸当ゴム		8	附属金物	フラッシュレール 戸車 シリダ錠 サムターン錠 引手 7&M額縁	
9	摘要			9	摘要		

1	符号	5 AD	取付箇所	機械室2	1	符号	6 AD	取付箇所	通路・荷捌き	1	符号	7 AD	取付箇所	機械室3	1	符号	8 AD	取付箇所	ホール	1	符号	9 AD	取付箇所	通路・荷捌き			
2	形式	引違いラッシュド7 (片側固定ガリ)		2	形式	引き分れオートド7		2	形式	両開きフラッシュド7		2	形式	FIX付片引きオートド7		2	形式	片開きフラッシュド7		2	形式	固定ガリ窓		2	形式	引き分れオートド7	
3	数量	1		3	数量	1		3	数量	1		3	数量	1		3	数量	1		3	数量	1		3	数量	1	
4	見込	70		4	見込	70		4	見込	70		4	見込	70		4	見込	70		4	見込	70		4	見込	70	
5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)		5	材料	7&Mシムハ-(ウヤサ)	
6	硝子	-		6	硝子	G-B-FL5 (ガラスフィルム貼)		6	硝子	-		6	硝子	FL5+AG+FL5 (ガラスフィルム貼)		6	硝子	FL5 (ガラスフィルム貼)		6	硝子	FL5 (ガラスフィルム貼)		6	硝子	FL5 (ガラスフィルム貼)	
7	塗装	-		7	塗装	-		7	塗装	-		7	塗装	-		7	塗装	-		7	塗装	-		7	塗装	-	
8	附属金物	フラッシュレール 戸車 シリダ錠 サムターン錠 引手 7&M額縁		8	附属金物	ハンガーボックス 両面サムターン錠 ストップ錠 自閉装置 7&M額縁 戸当ゴム 押棒		8	附属金物	SUS丁番 レバーハンドル シリダ錠 サムターン錠 7&M額縁		8	附属金物	ハンガーボックス ドアエンジン 検知器 サムターン錠 7&M額縁 戸当ゴム		8	附属金物	SUS丁番 レバーハンドル 7&M額縁 ドアローザ シリダ錠 サムターン錠									
9	摘要			9	摘要			9	摘要			9	摘要			9	摘要			9	摘要			9	摘要		



家具・サイン符号図

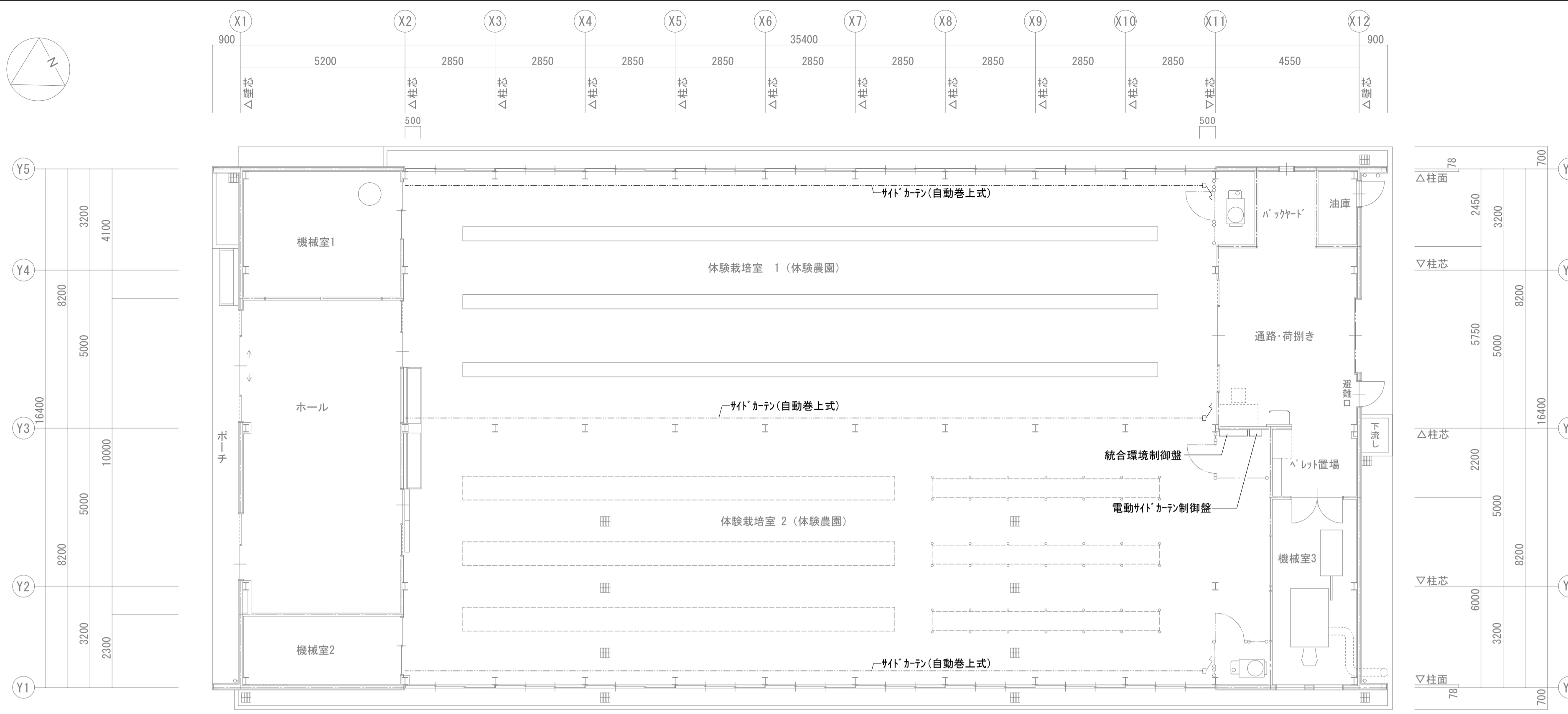
家具リスト 1/50

1	符号	1	取付箇所	手洗場	1	2	取付箇所	手洗
2	名称	2	手洗い場	1/50	2	手洗い	1/50	
3	数量	3	1		3	2		
4	材質	4	SUS304		4	SUS304		
5	建具	5	t t2.07&minバツンクプレート		5			
6	金物	6	防臭トラツク SUS水切壁面固定金具		6	防臭トラツク SUS水切壁面固定金具		
7	備考	7			7			
1	符号	1	取付箇所	通路・荷捌き	1	5	取付箇所	ホ-5
2	名称	2	ライツク	1/50	2	約イホ-ト	1/50	
3	数量	3	1		3	1		
4	材質	4	t 20&minバツンクプレート		4			
5	建具	5			5	7&min枠 板面ホ-マツク対応		
6	金物	6			6	MB付		
7	備考	7			7			

サインリスト

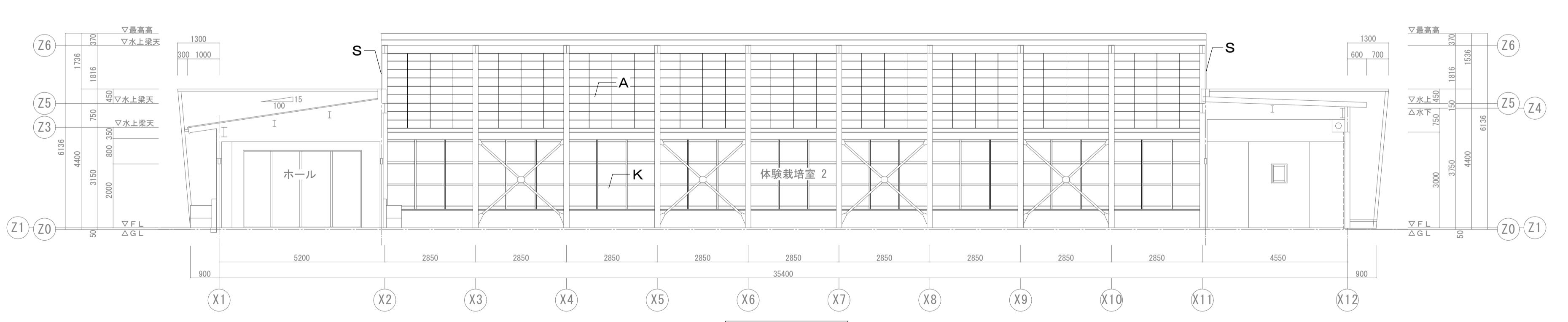
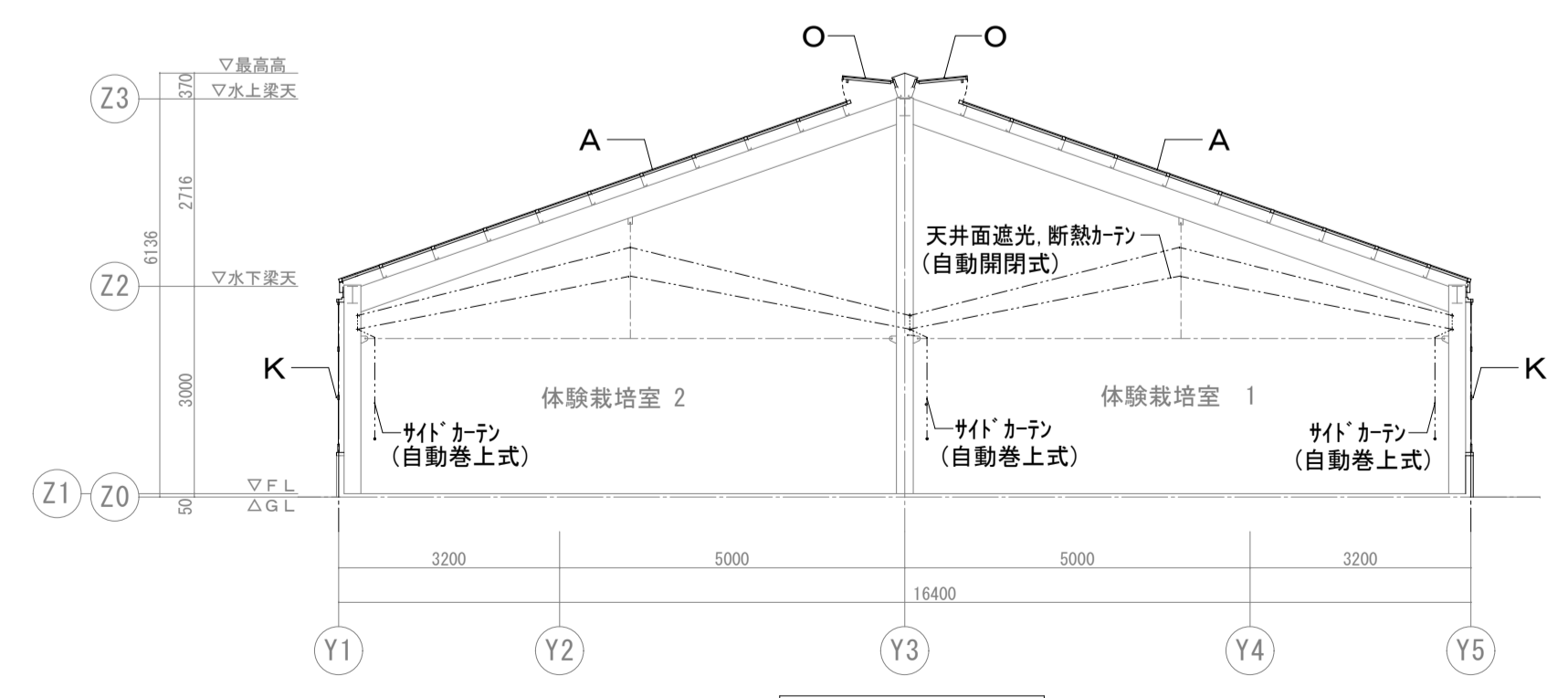
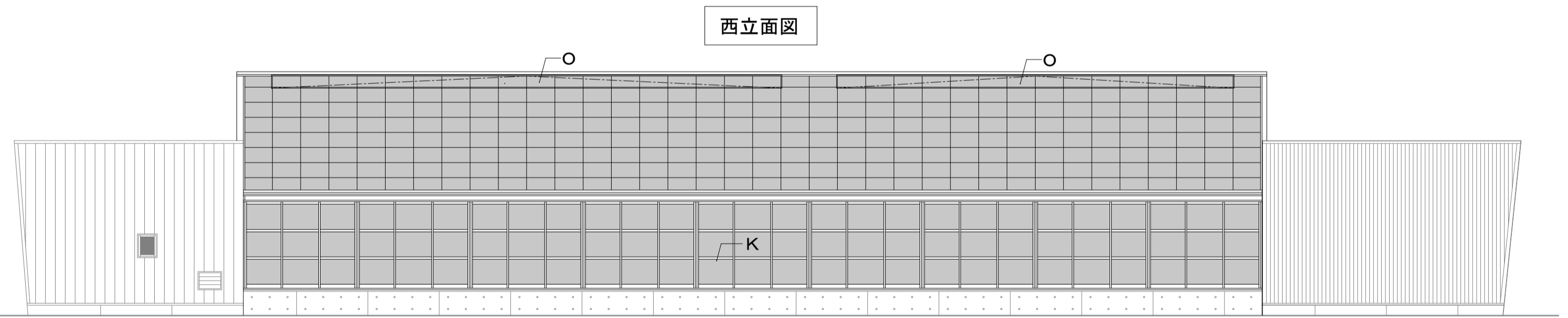
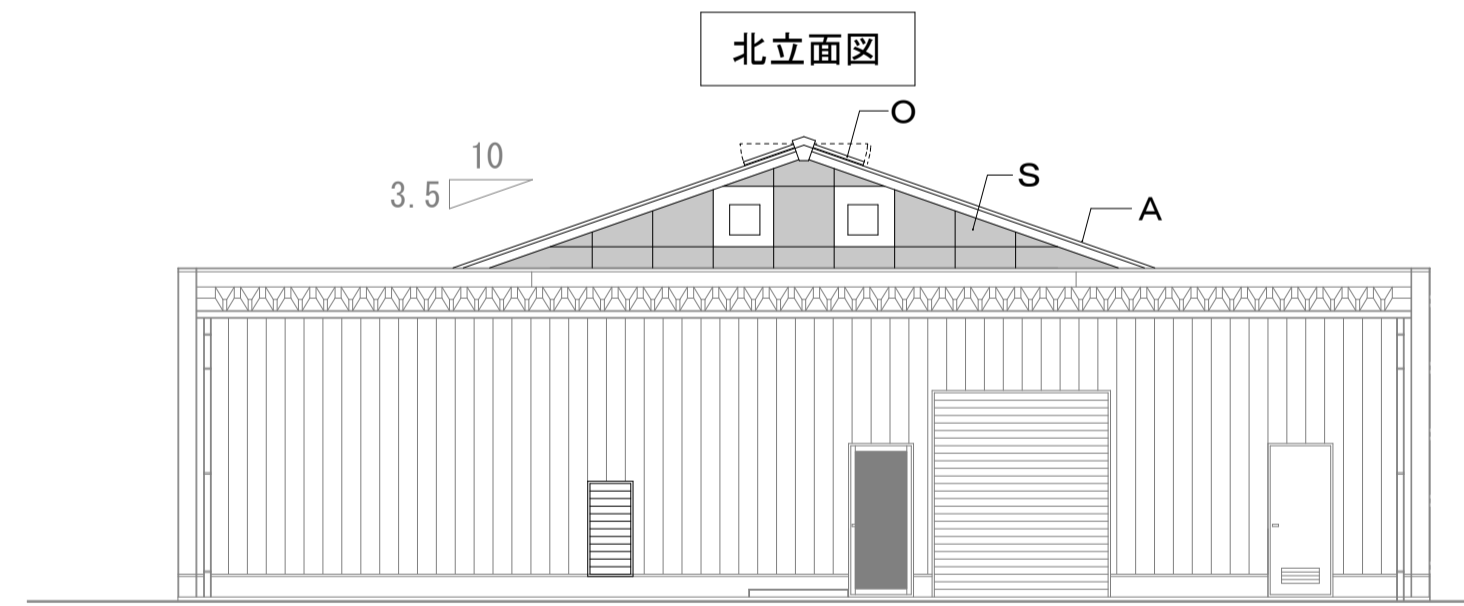
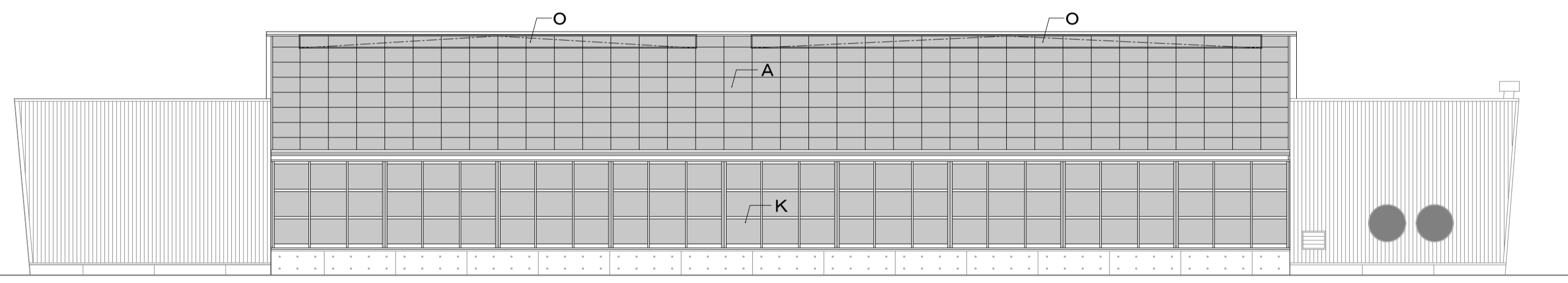
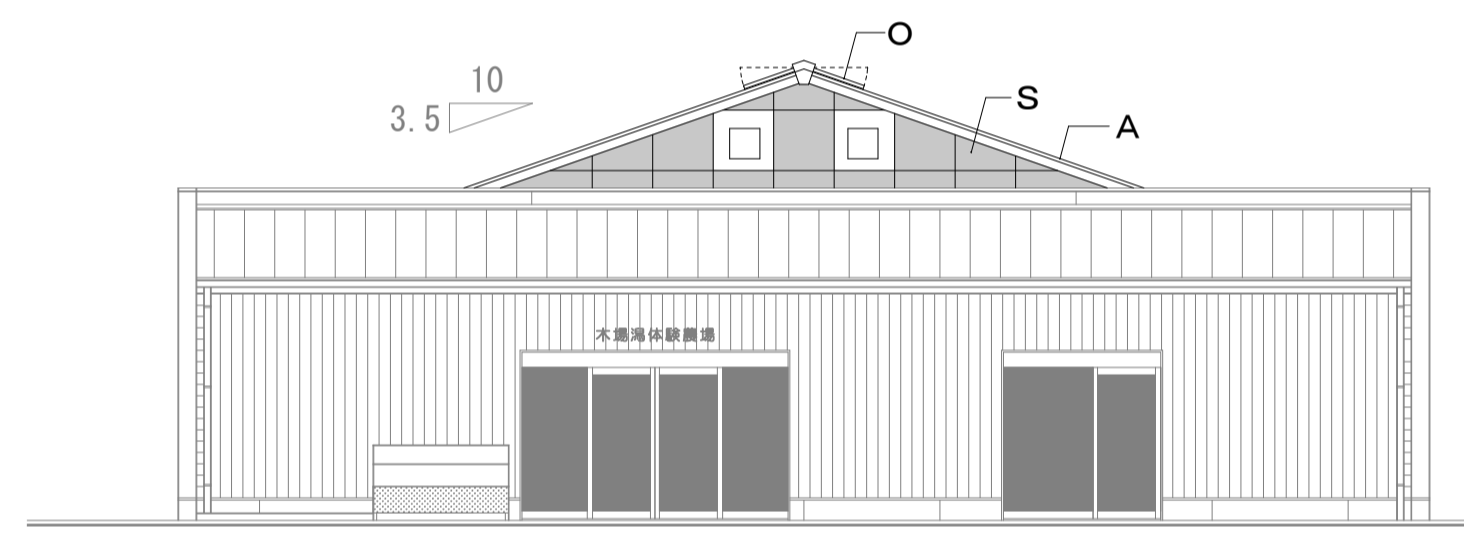
<p>符号 A</p> <p>取付箇所</p> <p>ホール</p> <p>型式 館内案内板</p> <p>数量 1</p> <p>備考</p> <p>板面/アクリル板 (白) t=5.0mm+5.0mm (捨て板) 表示/1JP貼り UV点字加工</p> <p>S=1/30 マップ拡大図</p>	<p>符号 B</p> <p>取付箇所</p> <p>ホール</p> <p>名称 館名サイン</p> <p>数量 1</p> <p>備考</p> <p>文字/SUS箱文字 D=20mm 塗装仕上げ (指定色) ※名称未定</p>	<p>符号 E</p> <p>取付箇所</p> <p>ホール 体験栽培室 1、2</p> <p>名称 入口・出口表示</p> <p>数量 4</p> <p>備考</p> <p>MFシート (文字シク印刷) ガラシに貼付</p>	<p>符号 F-1 F-2</p> <p>取付箇所</p> <p>機械室1</p> <p>名称 天吊サイン</p> <p>数量 1 1</p> <p>備考</p> <p>本体/アクリル板 t=5.0mm ワイヤ-天井吊り表示/MFシート切り文字貼り</p>
<p>符号 C</p> <p>取付箇所</p> <p>ホール</p> <p>名称 IN・OUTサイン</p> <p>数量 6</p> <p>備考</p> <p>表示/1JP貼り ガラシに貼付</p>	<p>符号 D</p> <p>取付箇所</p> <p>体験栽培室 1、2</p> <p>名称 進入禁止サイン</p> <p>数量 3</p> <p>備考</p> <p>MFシート (文字シク印刷) 建具に貼付</p>	<p>符号 G</p> <p>取付箇所</p> <p>ホール</p> <p>名称 切り文字サイン</p> <p>数量 5</p> <p>備考</p> <p>文字/MFシート切り文字 (表貼り) 扉に貼付</p>	<p>符号 H</p> <p>取付箇所</p> <p>体験栽培室 1、2</p> <p>名称 注意サイン</p> <p>数量 2</p> <p>備考</p> <p>本体/アクリル板 t=3.0mm (7&minに固定) 表示/1JP巻込み貼り</p>

<p>東側屋根軒先 S=1/20</p>	<p>通路・荷捌きライン S=1/20</p>	<p>マンホール S=1/20</p>	<p>安全柵 S=1/20 S=1/5</p>		<p>安全柵扉 S=1/20 S=1/5 S=1/20 S=1/5</p>		
<p>コンクリートU字溝 S=1/20</p>	<p>壁コーナ金物 S=1/10</p>	<p>断面図 S=1/20</p>	<p>正面図 S=1/20 側面図 S=1/20</p>		<p>正面図 S=1/20</p>		
<p>オ 足洗い場 S=1/20</p>		<p>カ 下流し S=1/20</p>		<p>オ 足洗い場 S=1/20</p>			
<p>ア 犬走り S=1/20</p>		<p>イ フローチ S=1/20</p>		<p>ウ ホーチ S=1/20</p>		<p>エ コンクリート側溝 S=1/20</p>	<p>ケ 排水樹 300x300 B種 S=1/20</p>
<p>ア 犬走り S=1/20</p>		<p>イ フローチ S=1/20</p>		<p>ウ ホーチ S=1/20</p>		<p>エ コンクリート側溝 S=1/20</p>	<p>ケ 排水樹 300x300 B種 S=1/20</p>
<p>一級建築士事務所 株式会社 V A N 建築事務所</p>		<p>project title 木場潟公園東園地農業体験ハウス(仮称)建設工事(建築)</p>		<p>checked by</p>		<p>drawn by</p>	<p>scale 1/12 (A3) 1/40 (A3) 1/6 (A1) 1/20 (A1)</p>

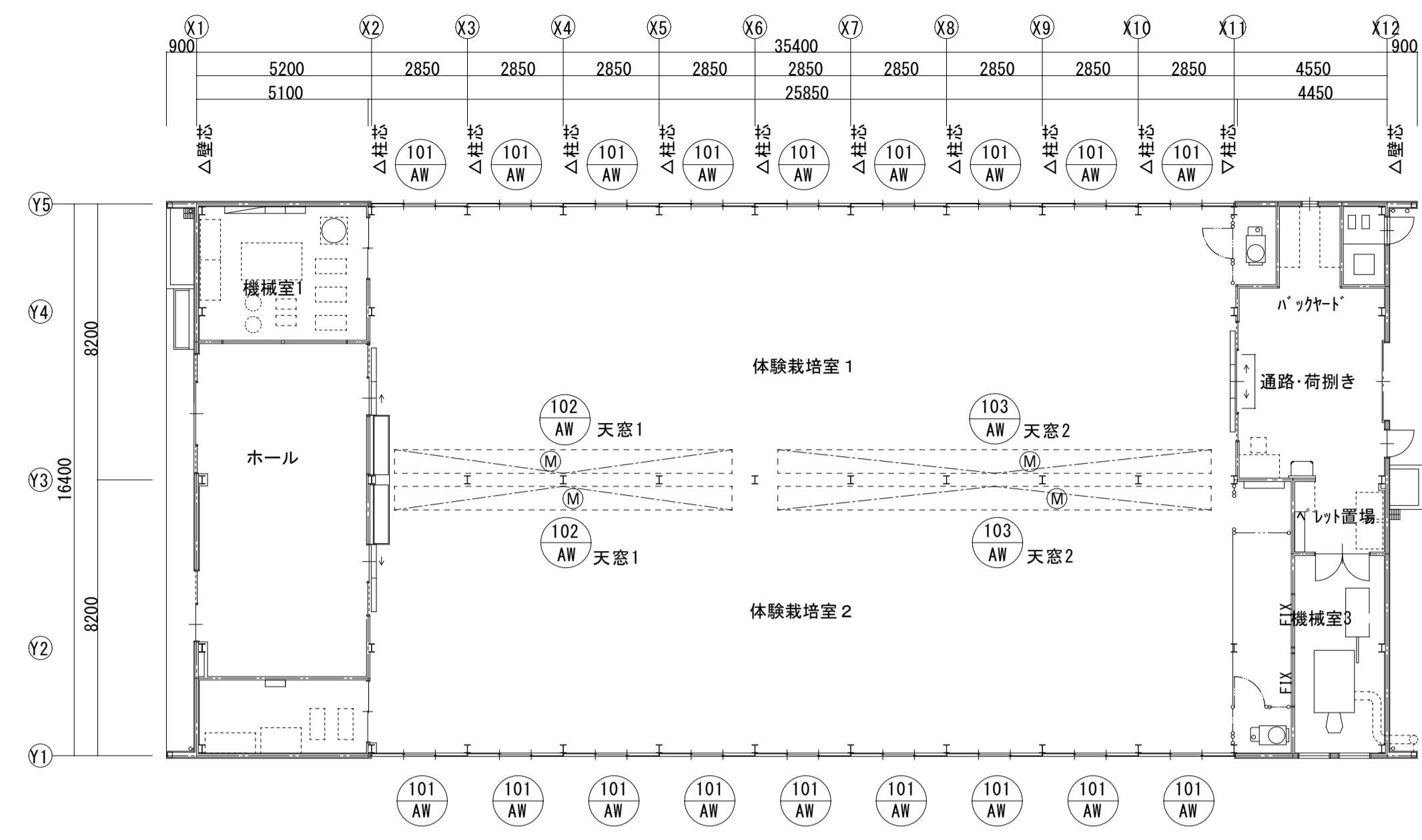


温室部 仕上表			
A 屋根	ポトガラス FL10 シーリング (受部ビード)	O 天窗	両天窗 H=730 ガラス FL10 アルミサッシ@712.5
	サッシ材 アルミ形材 @712.5		自動開閉器 (モーター 3相200W 0.2kw付) 4台
	ヨコサ材 アルミ形材 @800		シャフト40角パイプ 防虫網 サラン 0.8mm目合 張
S 妻壁	ポトガラス FL5 シーリング (受部ビード)	カーテン	天井カーテン 2軸2層
	サッシ材 アルミ形材 @712.5		上層: 遮光フィルム 遮光率 55%
	ヨコサ材 アルミ形材 @800		下層: 保温フィルム エネルギー-節減率 47%
K 側窓	3枚引違窓 W=2850 H=2219 ポトガラス FL3	自動開閉器 (モーター 3相200W 0.1kw付) 2台	自動開閉器 (モーター 3相200W 0.1kw付) 2台
	18ヶ所 自動開閉		サイドカーテン: 保温フィルム エネルギー-節減率 47%
	自動開閉器 (モーター 3相200W 0.04kw付) 2台		電動巻き上げ式 単独コントロールタイマー1台
	網戸付 ステンレスネット 30# 24メッシュ 1スパン3枚		DCマグネット (25イン、1ライン各1台)
			(モーター 3相200W 0.034kw付) 3台

1階平面図



建具符号図

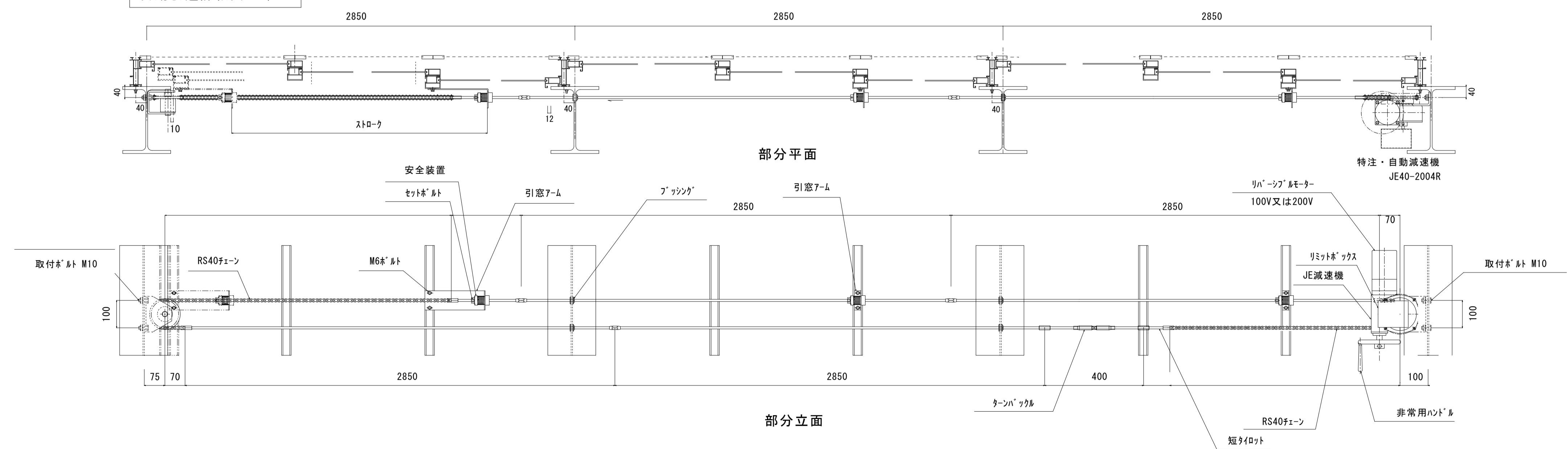


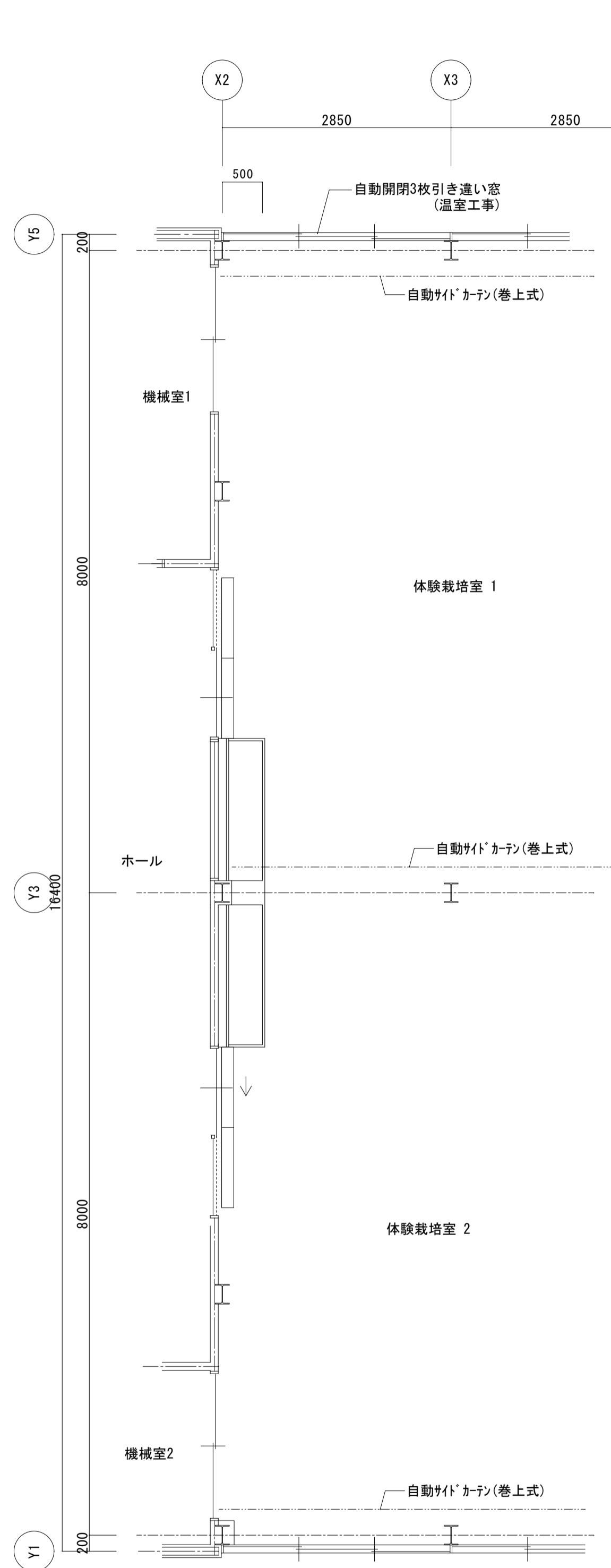
建具リスト 1/50

1	符号	(101) AW	取付箇所	体験栽培室 1,2	1	(102) AW	取付箇所	天窗1
2	形式	3枚引違い窓			2	天窗 1		
3	数量	18			3	2		
4	見込	106			4	障子厚 40		
5	材料	7mm (シルネー)			5	7mm (シルネー)		
6	硝子	FL-3			6	FL-10		
7	塗装	—			7	—		
8	附属金物	自動開閉器 シャフト 8φ 仕復 全面網戸付 (3枚/2m ²) (ステンレスシャフト30#24φ仕様)			8	自動開閉器 シャフト40角 防虫網 (内側張 95mm×10.8mm目合)		
9	摘要	温室ノカ仕様による			9	温室ノカ仕様による		

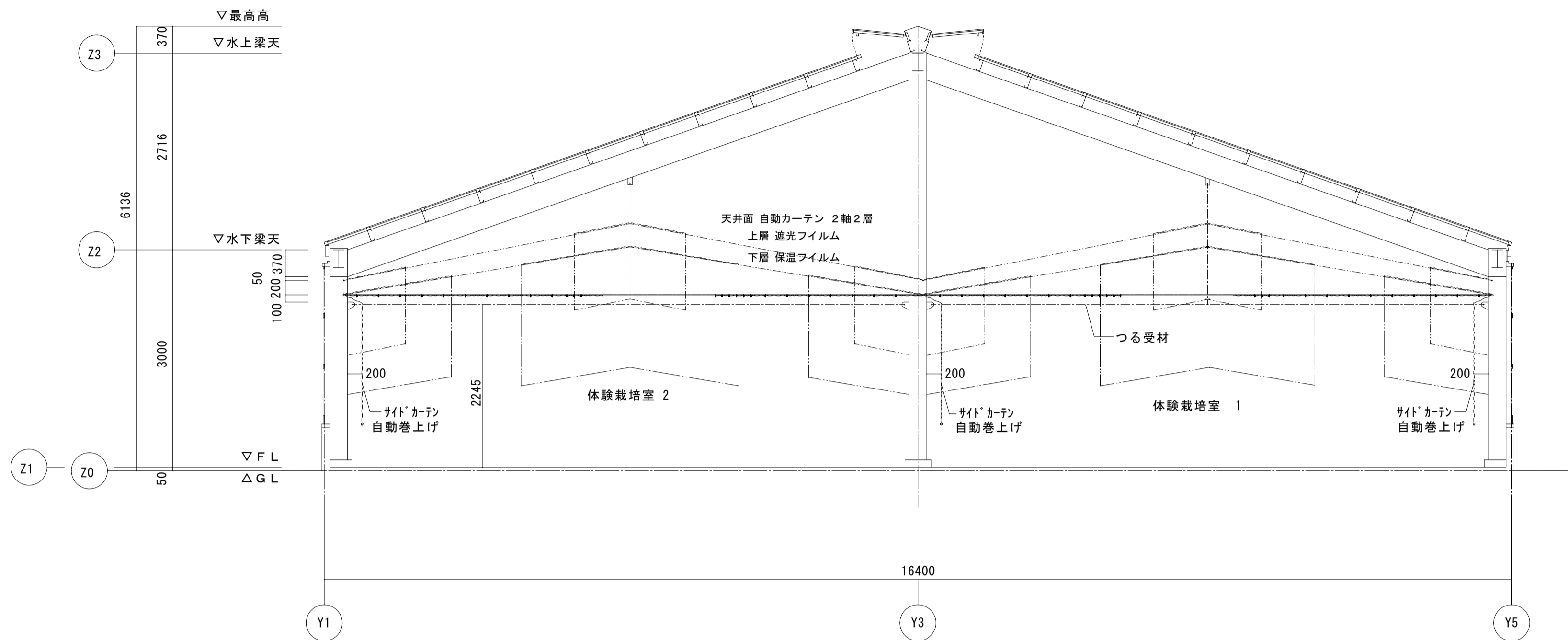
1	符号	(103) AW	取付箇所	天窗2
2	形式	天窗 2		
3	数量	2		
4	見込	障子厚 40		
5	材料	7mm (シルネー)		
6	硝子	FL-10		
7	塗装	—		
8	附属金物	自動開閉器 シャフト40角 防虫網 (内側張 95mm×10.8mm目合)		
9	摘要	温室ノカ仕様による		

自動引違詳細図 1/10

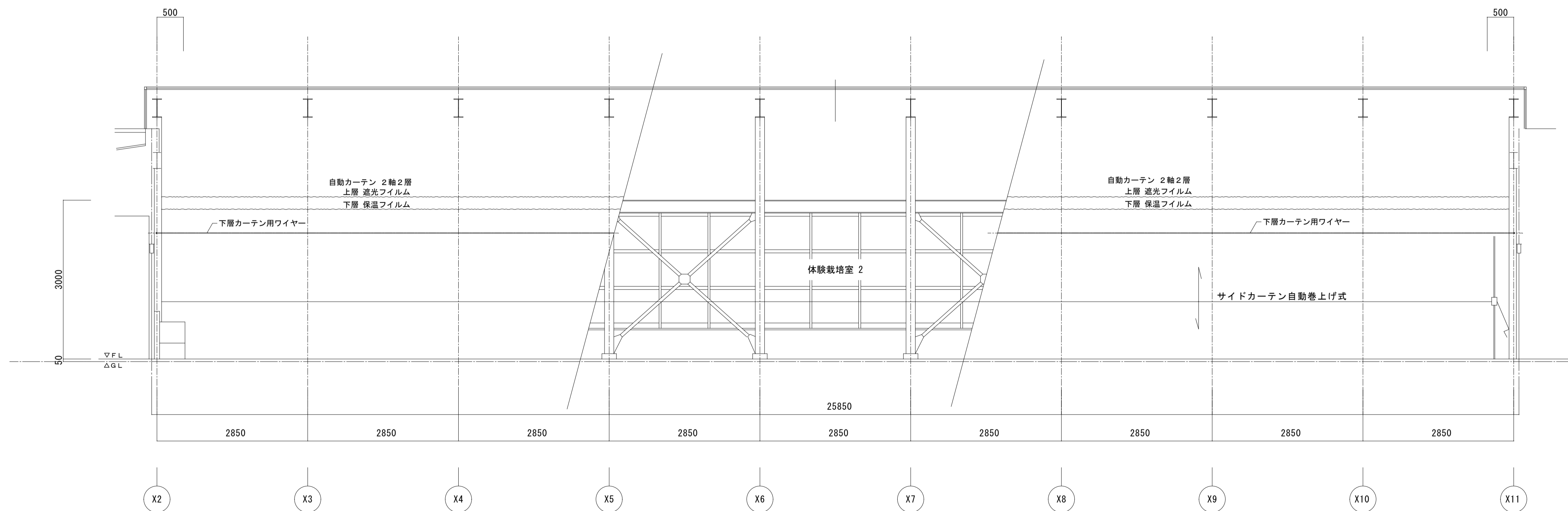




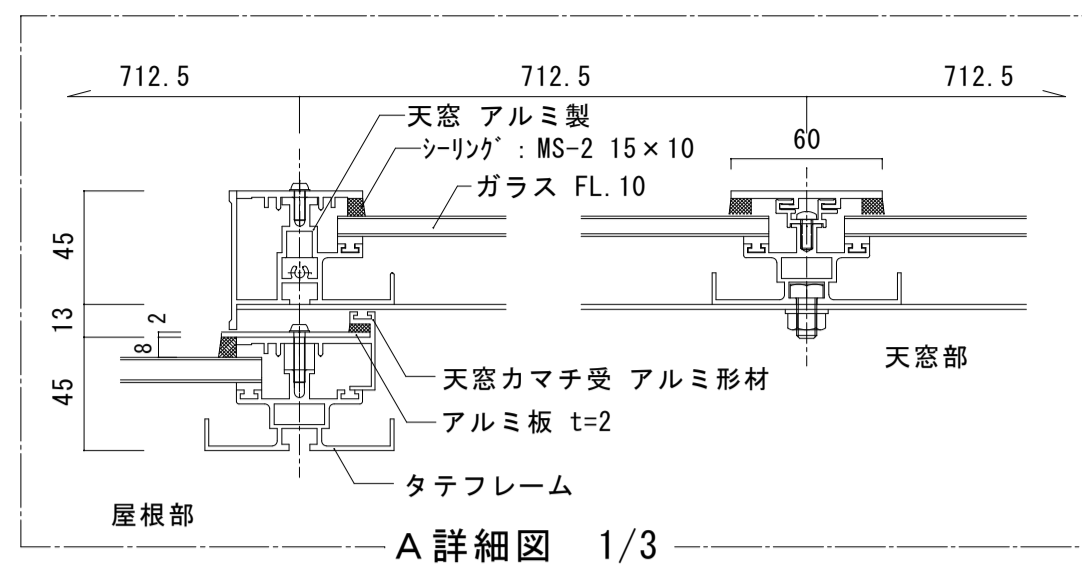
平面図 (カーテン概要図)



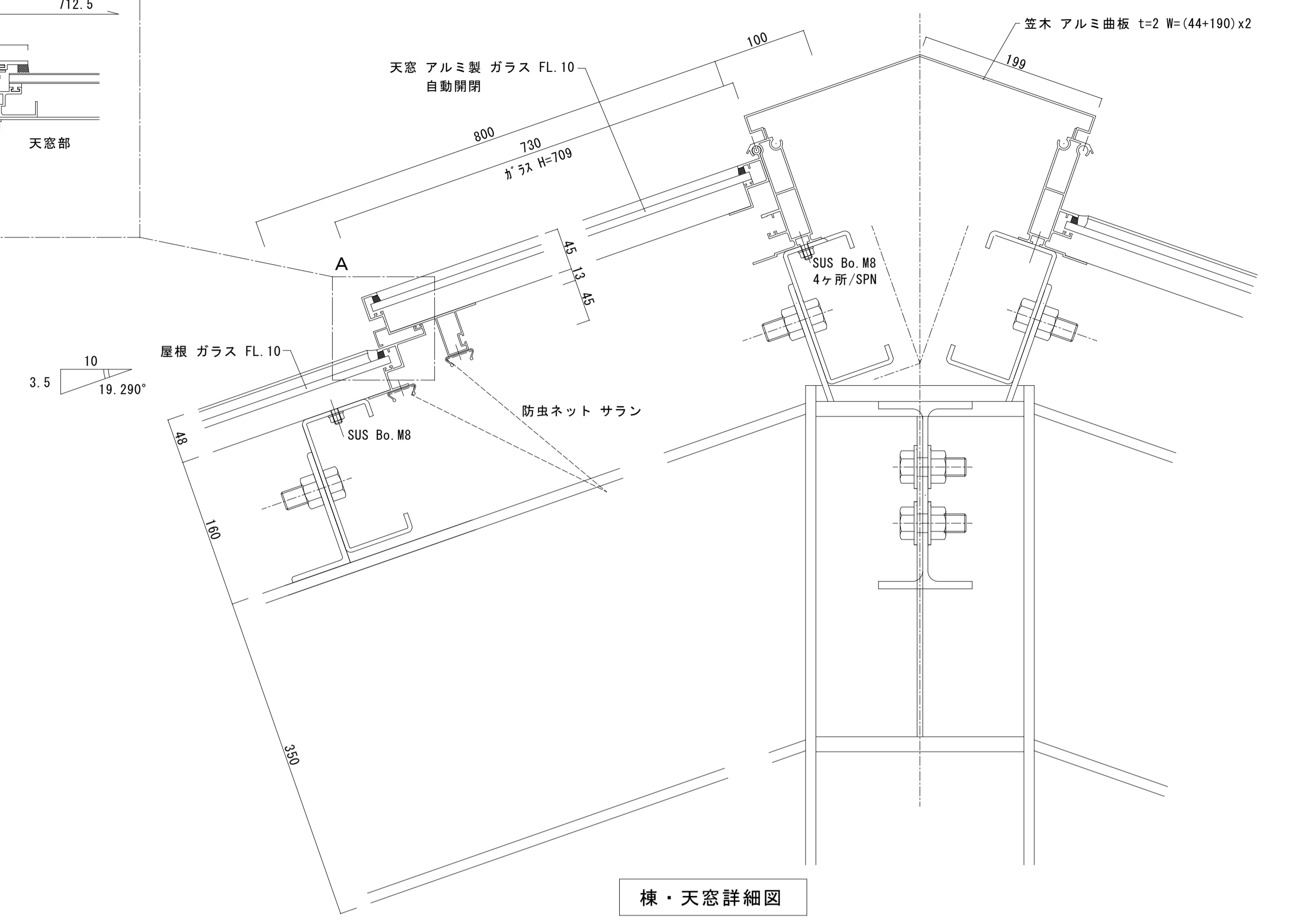
展開図 (カーテン概要図)



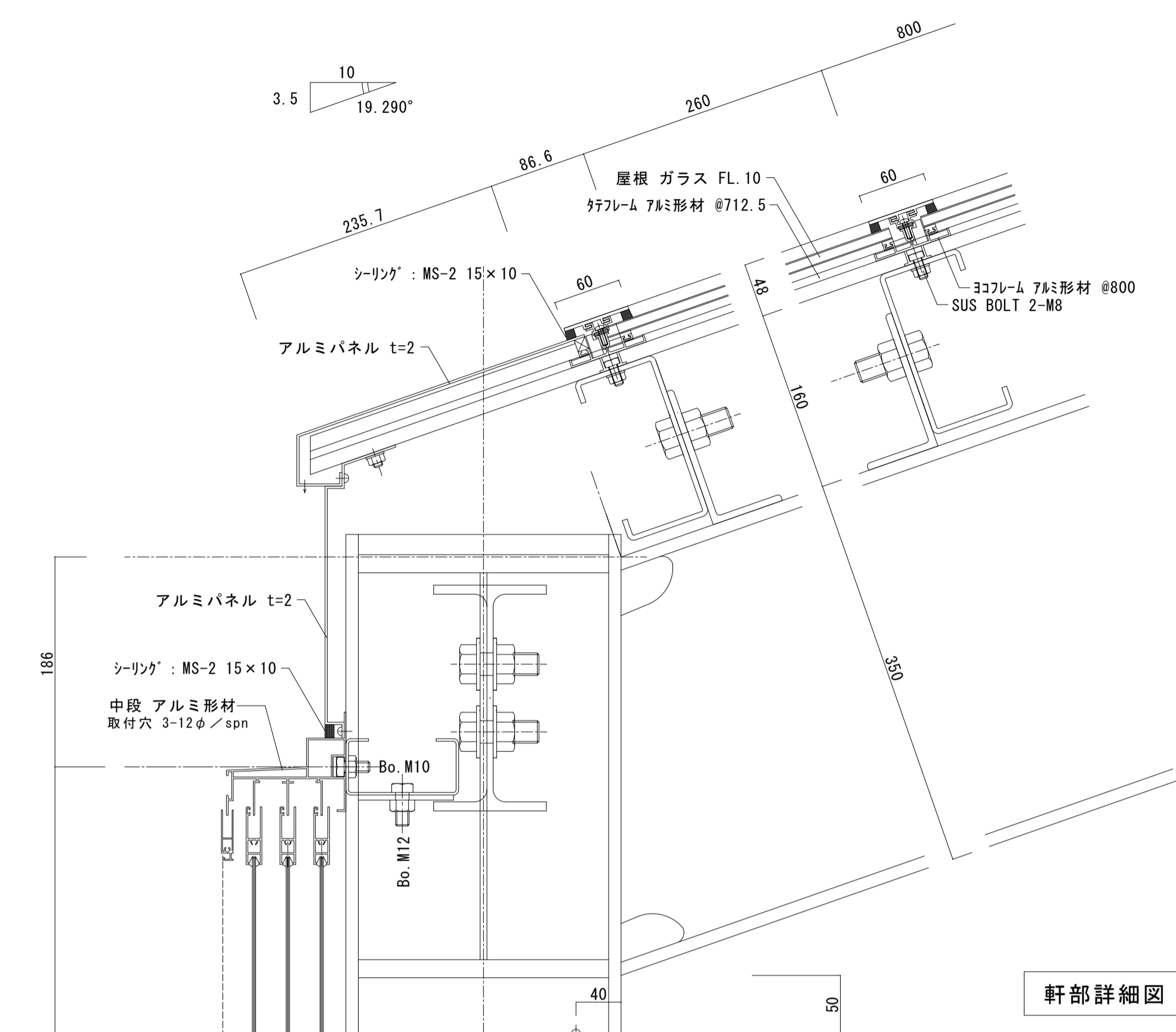
展開図 (カーテン概要図)



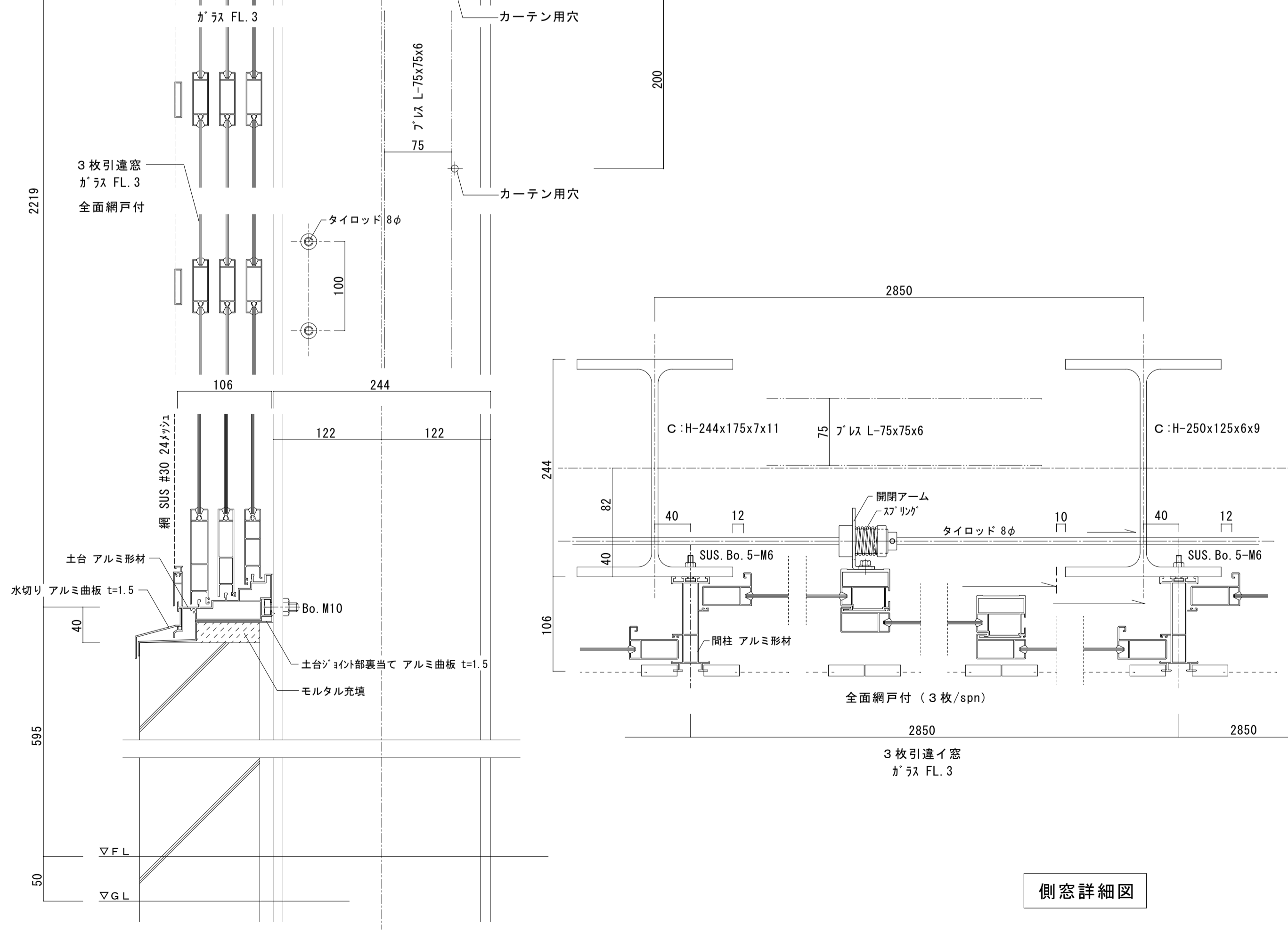
A 詳細図 1/3



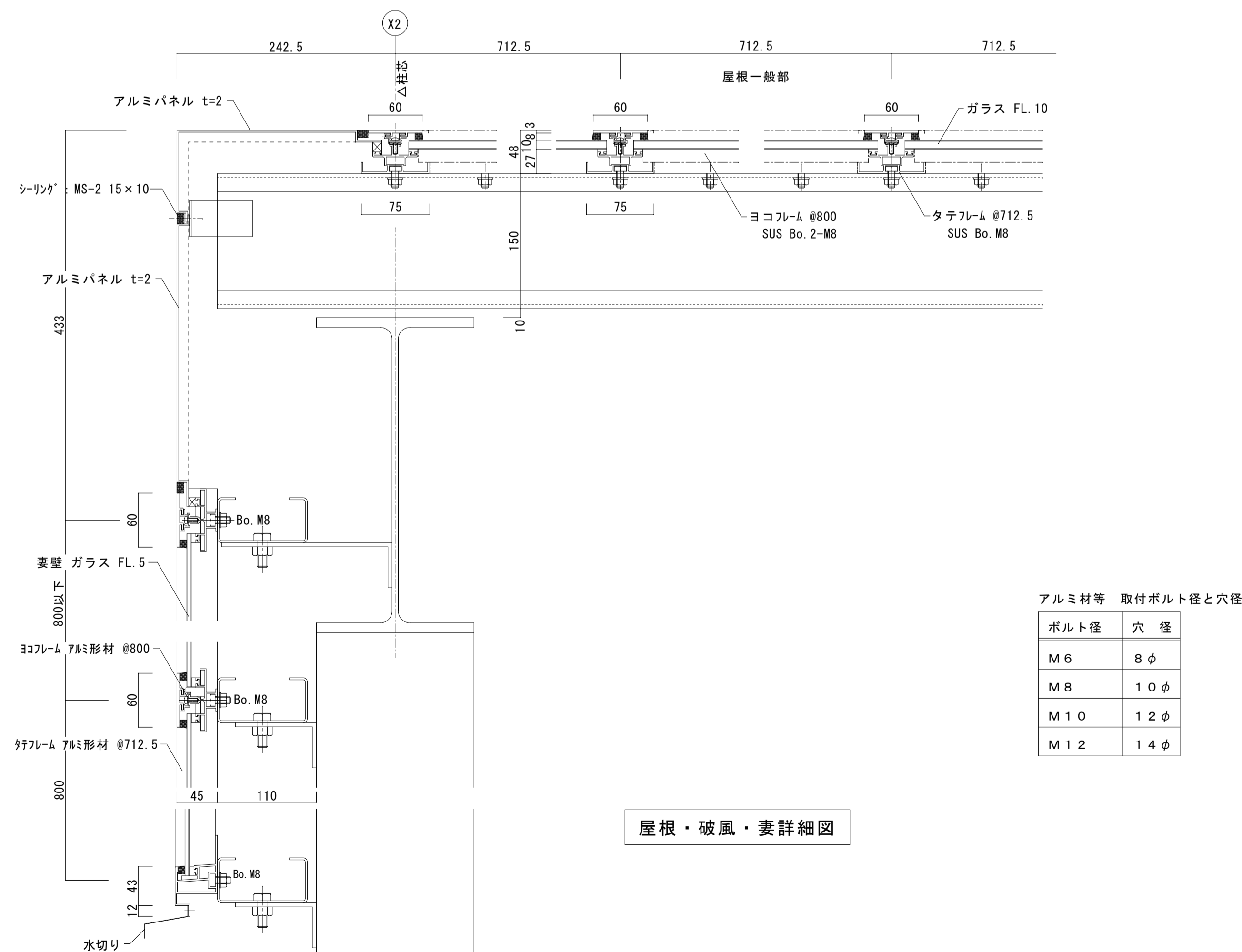
棟・天窓詳細図



軒部詳細図



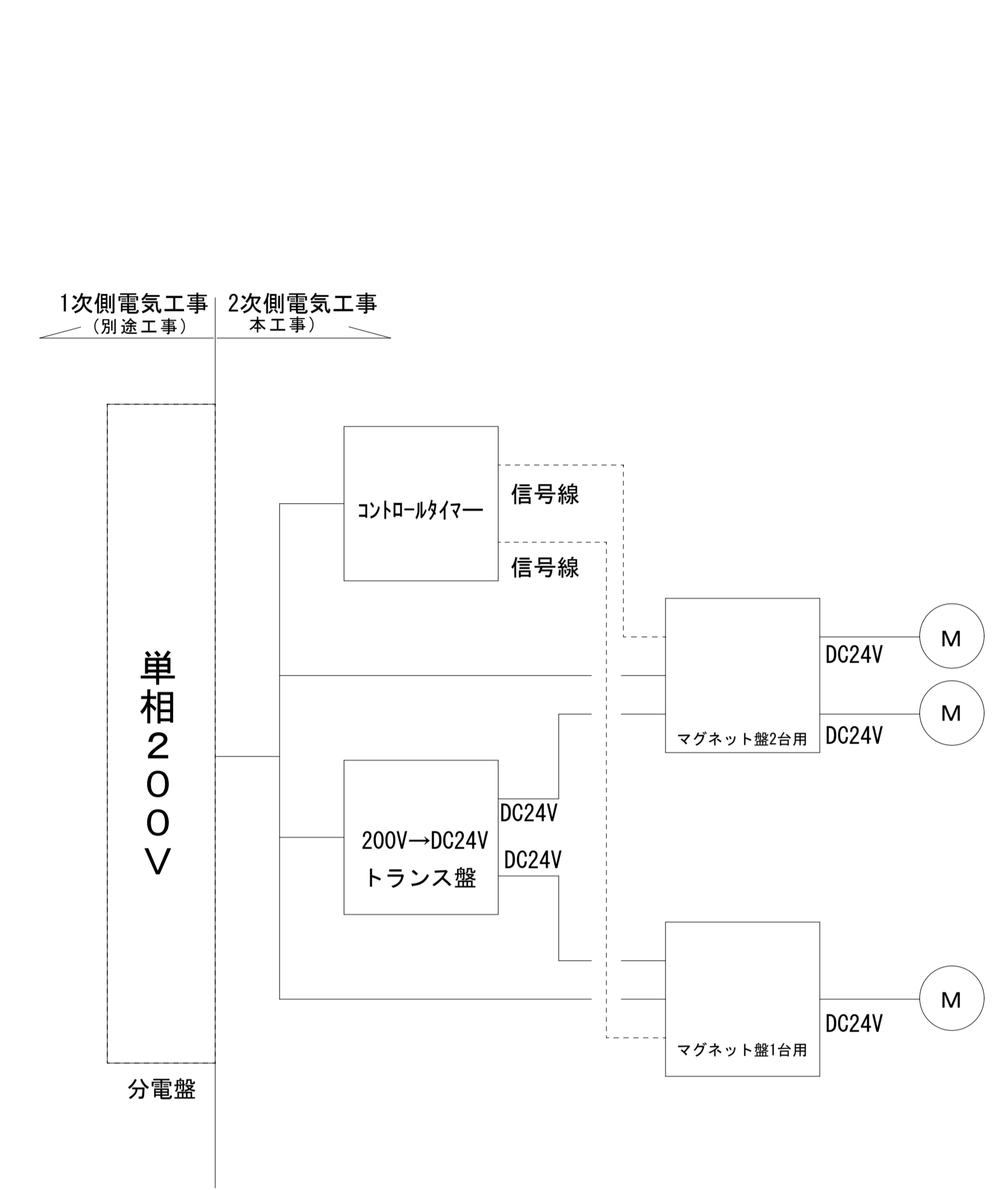
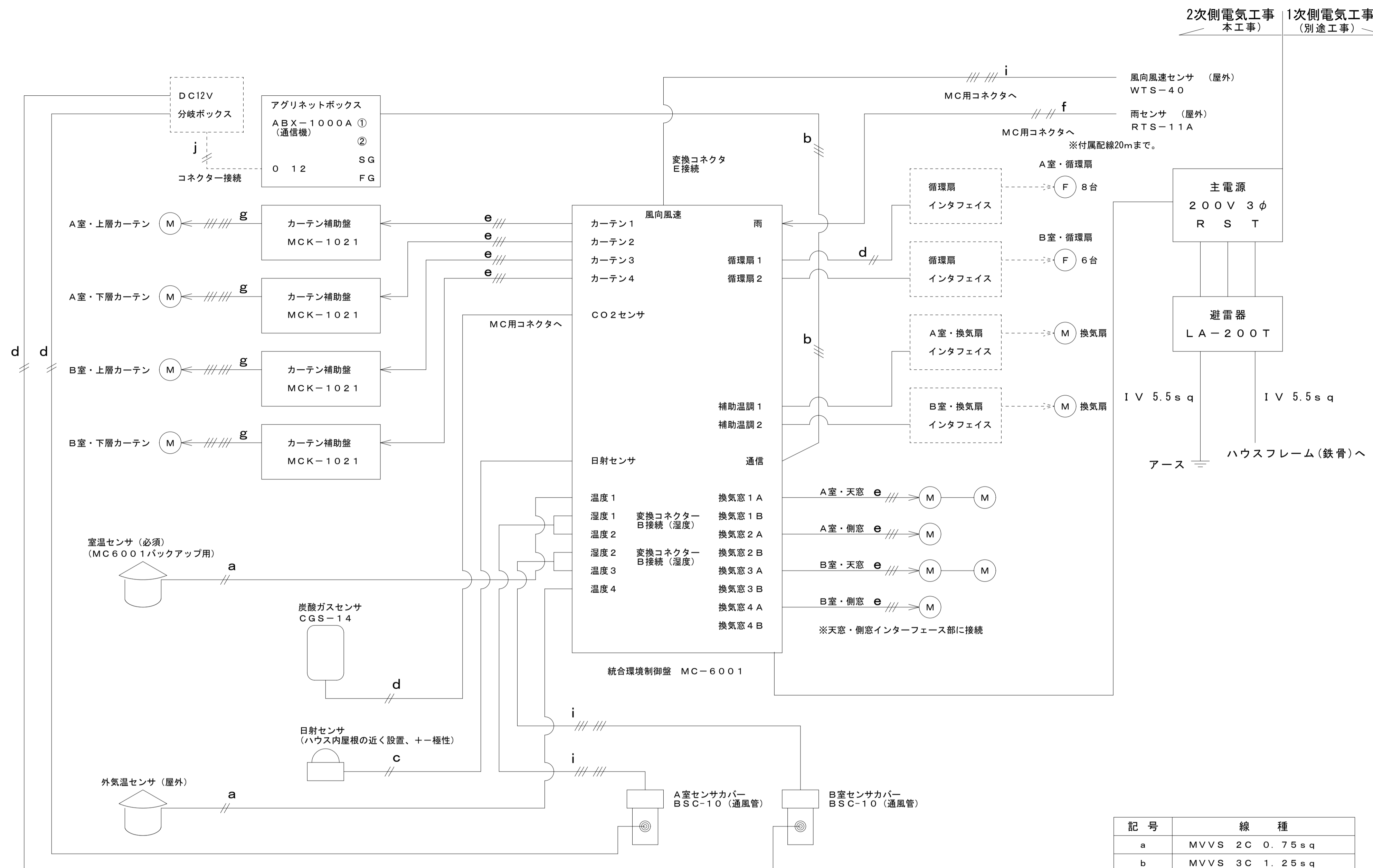
側窓詳細図



屋根・破風・妻詳細図

アルミ材等 取付ボルト径と穴径

ボルト径	穴径
M 6	8 φ
M 8	10 φ
M 10	12 φ
M 12	14 φ



電動サイドカーテン制御盤図

- 注記)
- 各機器類の電源線別途
 - 各機器の電源相(R, S, T)を合わせること
 - アース工事は必ず行うこと
 - センサ線及び通信線は動力線と束ねて配線しないこと
必ず50cm以上離すこと
 - 通信線には必ず3芯のシールド線を使用すること
 - 主電源以降二次側配線は全て本工程

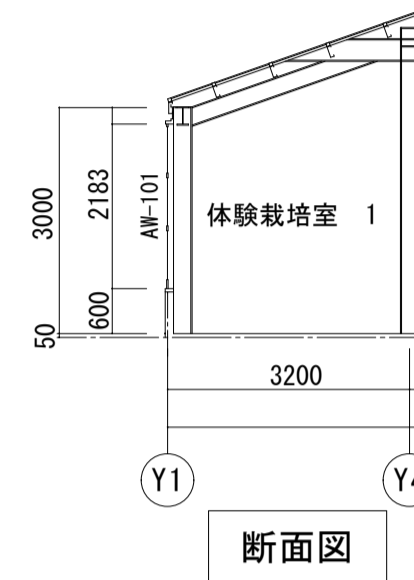
● 温湿度センサHUS-13×2は、センサカバー BSC-10内(通風管)

● MC-6001・ABX-1001Aは、棒端子接続
 信号機(入力・出力) TGNTC1.25-9T 絶縁キャップ付
 電源線 TC2-16V-ST-C 絶縁キャップ付

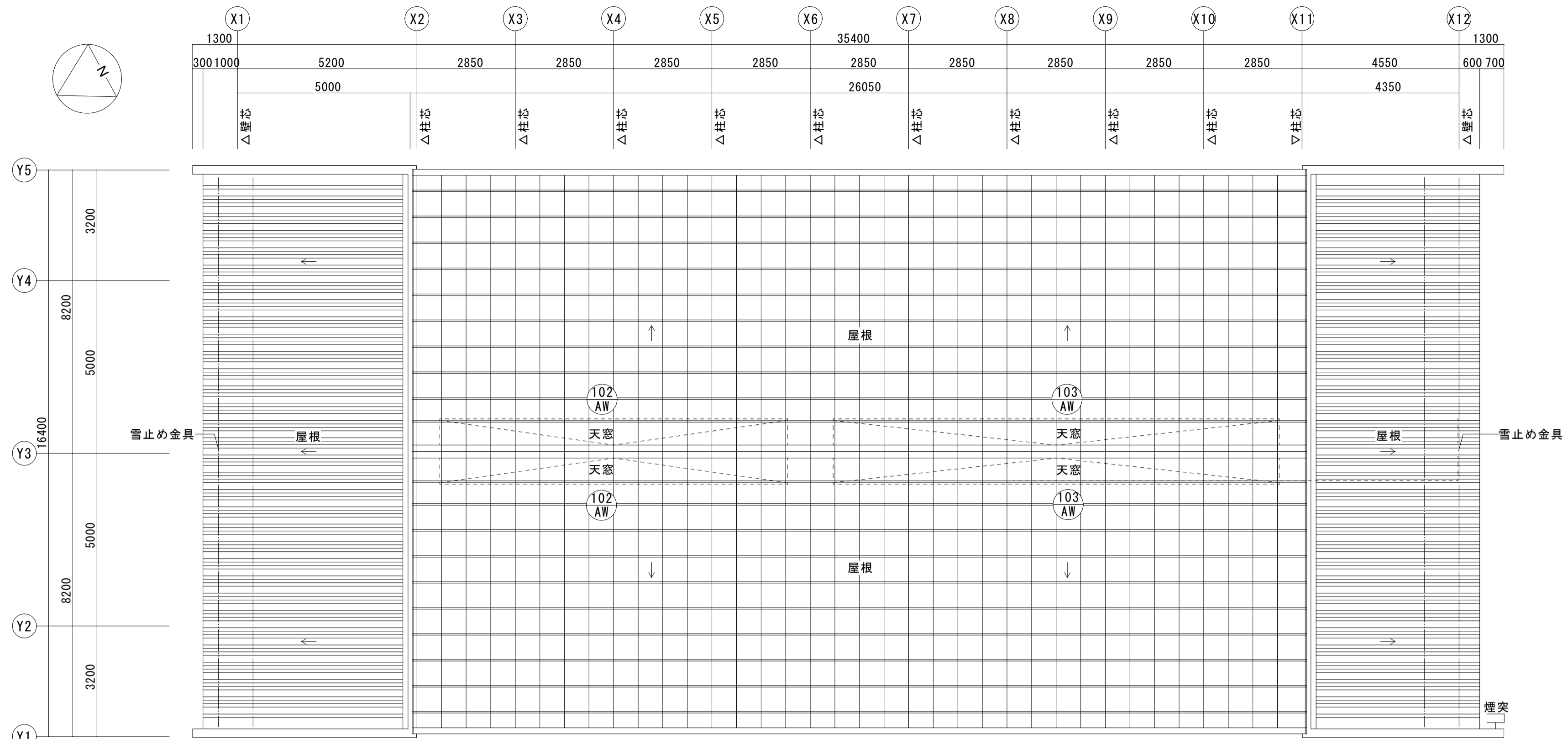
記号	線種
a	MVVS 2C 0.75sq
b	MVVS 3C 1.25sq
c	MVVS 2C 0.50sq
d	VCT 2C 1.25sq
e	VCT 3C 1.25sq
f	VCT 4C 1.25sq
g	VCT 6C 1.25sq
h	MVVS 4C 1.25sq
i	MVVS 6C 0.75sq
j	VCT 2C 0.75sq

総合環境制御盤図

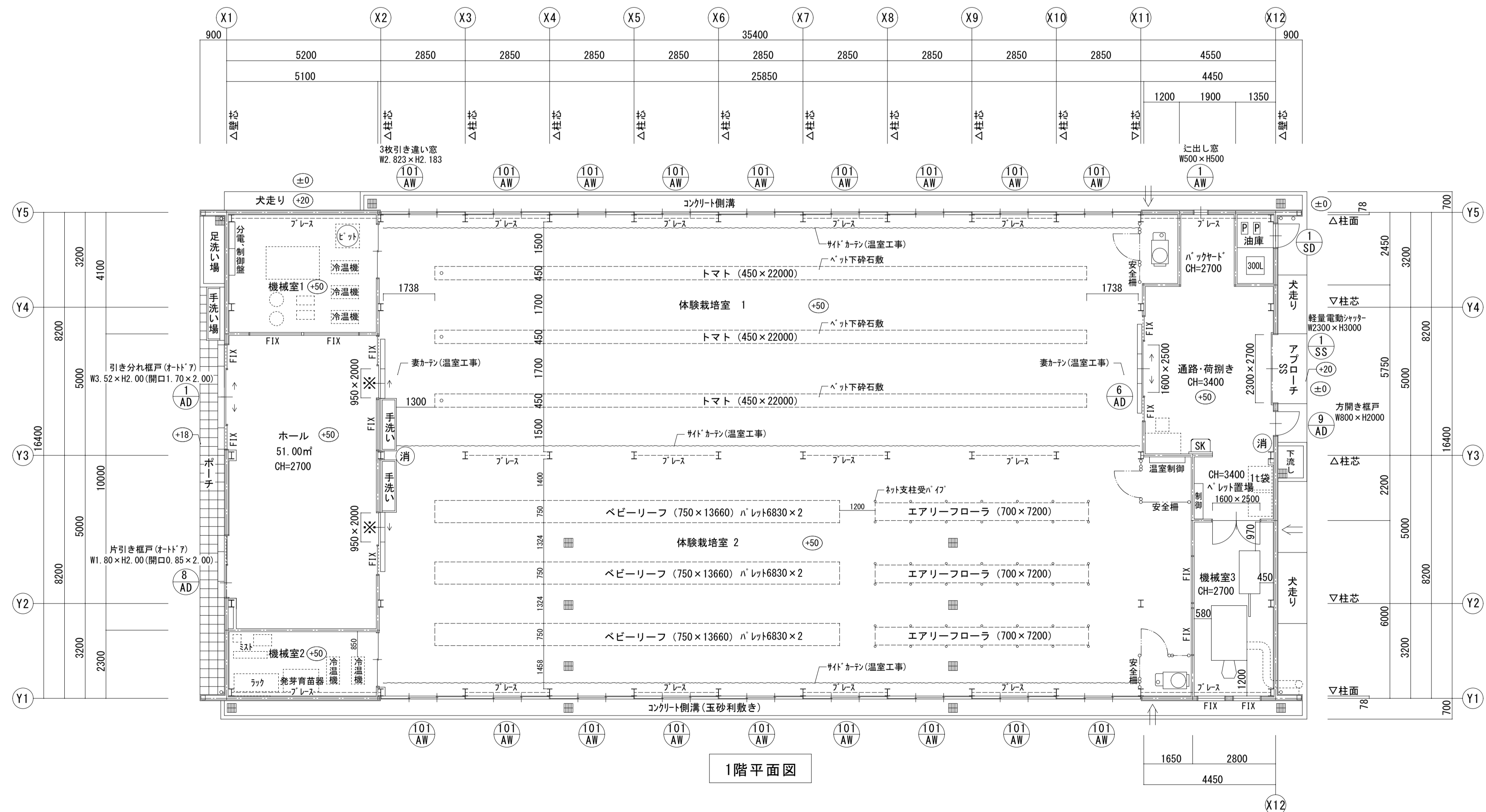
凡例	
建築基準法上の建物主用途	その他(体験農園)
防火対象物の用途区分	15項
間仕切壁は全て軽鉄壁下地	
1 AW	建具符号
※	排煙垂れ壁H=500以上
←	給気口(ガラリ)
消	消火器(機械設備工事)
シックハウス計画換気扇は給排気型を使用	
暖房機以外の火気使用なし	
消防法有無窓判定	1階床面積 580.56m ²
必要開口面積150.56×1/30=5.01	
AW-101 W2.823×H2.183×2/3×10力所=41.08 有窓	



ホール		51.00m ²	
採光	基準 2.55 設計 10.80	AD-8 1.80×2.00×3=10.80	倍率3
換気	基準 2.55 設計 5.10	AD-1 1.7×2.00=3.40 AD-8 0.85×2.00=1.70	
排煙	告示 1436号-4ニ(4)による		



屋根伏図



1階平面図